

A110

ALPINE MULTIMEDIA SYSTEM

ALPINE

A small graphic element consisting of three horizontal bars in blue, white, and red, positioned below the word ALPINE.

使用時の注意

安全を理由にまたは物的損害の恐れについてシステムを使用する場合には、必ず次の注意事項に従う必要があります。（1）運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。



システムの操作に関する注意事項

- 交通事情が許す限り、スイッチを操作してスクリーンで情報を参照してください。
- 周囲の音が聞こえるように、ボリュームを適度なレベルに調整して下さい。

ナビゲーションに関する注意事項

- ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。
- 地域によっては、「地図」に新しい経路の情報がないことがあります。ご注意下さい。どのような場合でも、ナビゲーションシステムの指示より道路交通規則や道路標識を優先してください。

装置に関する注意事項

- やけど、物的リスクを避けるために、このシステムを分解したり改造することは絶対にお止め下さい。
- 誤作動のため、また解体する場合には、メーカーの担当者までお問い合わせ下さい。
- 異物、損傷または汚れた外部ストレージデバイス（USB キー、SD カードなど）をリーダーに挿入しないでください。
- 使用しているシステムと互換性のある外部記憶装置（USB フラッシュドライブ、Jack ソケットなど）のみを使用してください。
- マイクロファイバーの布で常に画面を清潔に保ってください。
- アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。



システムを使用する前に、一般販売条件に事前に同意することが必須となります。

この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた特徴に基づいて作成されました。電話のメーカーとモデルによっては、いくつかの機能が車両のマルチメディアシステムと部分的または完全に互換性がある場合があります。

詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。



この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた技術仕様に基づいて作成されました。

この取扱説明書には、記載モデルに既存のあらゆる機能（標準機能またはオプション機能）に関する情報が含まれています。注意事項のあるなしは、装備のモデル、選択したオプション、製品化する国によって異なります。この取扱い説明書に記載されている機能は、更新、規制または技術的な制約により、将来的には変更される場合があります。またモデルイヤーの途中から登場した機能についても本書で取り上げます。このマニュアル上の画面は、契約ではありません。

要約

「概要」の項を参照してください.....	4	車両の貸し出しや手放し	89
概要説明	4	車両.....	90
コマンドの説明	5	リアビューカメラ	90
作動原理	11	Alpine Telemetrics	91
クリーニング	14	設定.....	96
進む／止まる	17	システム設定	96
追加、ウィジェットの管理	18	通知	104
音声認識の使用	21	作動異常.....	106
ナビゲーション	28	システム	106
カードキー	28	ナビゲーション	107
行き先を入力	34	電話	108
交通	44	音声認識	109
ナビゲーションの設定.....	46		
オーディオ／マルチメディア	49		
ラジオを聞く	49		
音楽	53		
写真	55		
ビデオ	57		
電話.....	59		
電話のペアリングや接続	59		
通話管理	63		
SMS	68		
電話の設定	70		
ワイヤレスチャージャー	72		
アプリケーション	74		
Android Auto™,CarPlay™	74		
アプリケーション管理.....	77		
サービスの起動	79		
システムと地図のアップデート	82		
My Alpine	87		

概要説明

1

ようこそ画面



A. 時計。

B. 選択されたプロフィール。ユーザープロフィールを構成するには、**→ 96**。

C. ページインジケータ：コンテンツエリアを素早くスワイプしてページを変更します。

D. メインメニューへのアクセス。

注：ホームページの構成を変更できません。詳細については、「ウィジェットの追加と管理」の項を参照してください。

i 詳細については、ポップアップメニューから取扱説明書を開きます。

メニュースクリーン



E. メニューに応じて、この領域には進行中の機能へのショートカットが表示されます。

F. ポップアップメニュー。

G. メニューによっては、この領域に以下の2つから5つのボタンが表示されます：

H. 短押し：前のページに戻ります。

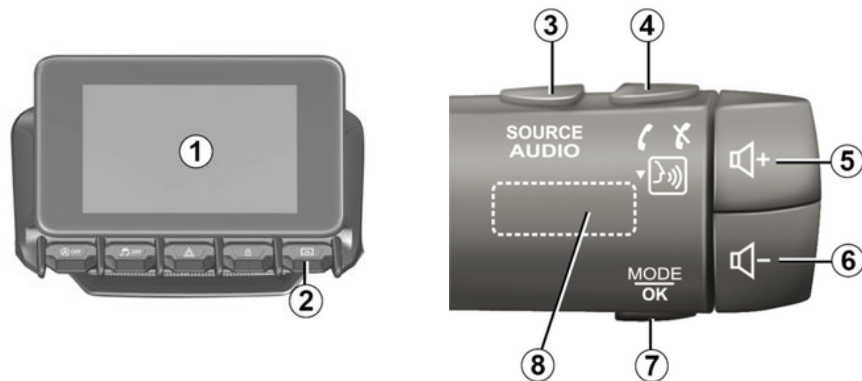
長押し：ホーム画面に戻ります。

1. メインメニュー

注：エクイップメントレベルによっては、選択可能な機能のみがホーム画面に表示されます。

コマンドの説明

スクリーン制御



コマンドの説明

1

機能

コマンドの説明

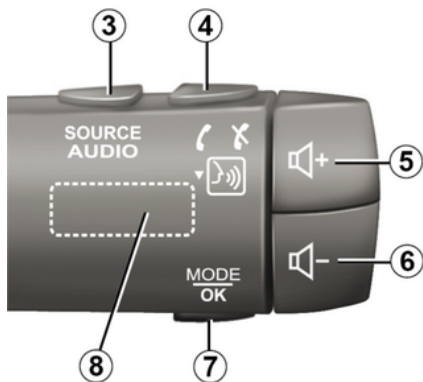
1

	機能
1	マルチメディア画面。
2	長押し（約 5 秒）：システムを再起動できます。 短押し：ラジオ／音楽 OFF、最小表示、スタンバイ。
3	短押し：音源を選択できます。
4	通話に応答する／通話を終了する（電話モード）。 2 番目の通話の着信時に通話を拒否する（電話モード）。 音声認識をオンにする。
5	現在聴いている音源の音量を上げる。
6	現在聴いている音源の音量を下げる。
5 + 6	ラジオのミュートの ON/OFF。 オーディオトラックの一時停止または再生。 音声認識の音声シンセサイザーを中断します。
7	短押し：前の画面に戻れます。
8	ラジオのプリセットをスクロールする／フォルダ内でトラックを変更する。

コマンドの説明

1

ステアリングコラムコントロール



コマンドの説明

機能

コマンドの説明

1

	機能
1	マルチメディア画面。
2	長押し（約 5 秒）：システムを再起動できます。 短押し：ラジオ／音楽 OFF、最小表示、スタンバイ。
3	短押し：音源を選択できます。
4	通話に応答する／通話を終了する（電話モード）。 2 番目の通話の着信時に通話を拒否する（電話モード）。 音声認識をオンにする。
5	現在聴いている音源の音量を上げる。
6	現在聴いている音源の音量を下げる。
5 + 6	ラジオのミュートの ON/OFF。 オーディオトラックの一時停止または再生。 音声認識の音声シンセサイザーを中断します。
7	短押し：前の画面に戻れます。
8	ラジオのプリセットをスクロールする／フォルダ内でトラックを変更する。

作動原理

マルチメディア画面



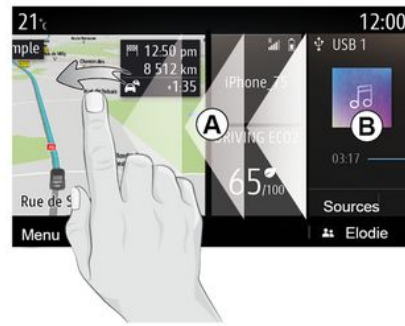
メニューにナビゲート

マルチメディア画面を使用してシステム機能を利用できます。マルチメディア画面をタッチして、メニューの1つを選択します。



ジェスチャーインタラクション

- 短押し: 指で画面の一部にタッチして、すぐに画面から指を離します。
- 長押し: 画面の一部をタッチして、少なくとも1.5秒間待ちます。
- 拡大と縮小: 2本の指を画面上に置いて、指を互いに近づけたり離したりします。



- すばやく「スワイプ」: ホームページAからホームページBに切り替えるには、指をすばやく左から右にスライドさせます。
- ドラッグアンドドロップ: 移動するアイテムを少なくとも1.5秒押し続け、目的の場所にドラッグしてから指を離します。

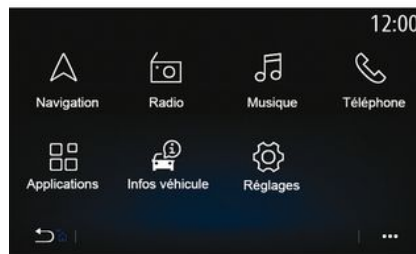
作動原理

1 ホームページの説明



お使いのシステムにはカスタマイズ可能なホームページ **1** がいくつかあります。別ページに移動するには、左右にスワイプするか、目的のページに対応するボタン **1** を押します。

これらのホームページは、ナビゲーション、ラジオなどの機能を持ついくつかのウィジェットで構成されています。



これらのウィジェットでは、その機能のメイン画面に直接アクセスしたり、場合によってはメイン画面の1つから機能を直接制御したりできます（ラジオ局の変更など）。

ホームページの説明については、➔ **4**。

注: ホームページの設定を変更できません。詳細については、「ウィジェットの追加と管理」の項を参照してください。

ホームページの表示、機能、および情報は、国や読み取り方向によって逆になる場合があります。

メインメニューの説明



ホームページにアクセスするには、画面のボタン **2** を長押しします。

システムにはいくつかのメニューがあり、メインメニューからそれらのすべてにアクセスできます。

- 「ナビゲーション」：このメニューには、車両が販売されている国に応じて、すべての衛星ガイダンス機能、道路地図、交通情報が含まれます。
- 「ラジオ」：ラジオやオーディオファイル再生を管理します。
- 「音楽」：オーディオファイル再生を管理します。
- 「電話」：システムを1つ以上の携帯電話とペアリングし、ハンズフリーモードを使用することができます。

作動原理

- 「アプリケーション」: 写真、ビデオ、Alpine Telemetricsのようなアプリケーションを管理します。
- 「車両情報」: マルチメディアシステムに関する情報が含まれます。
- 「設定」: 走行アシストシステム、リバースカメラなどのいくつかの車両機器を管理するため、また、ディスプレイ、言語などのマルチメディアシステム上のさまざまな設定を調整するために使用されます。
- 「おすすめ情報と通知」: カテゴリ別にイベントを通知します: ナビゲーション、マルチメディア、電話など。

注: 装備によっては、一部のメニューが使用できない場合があります。

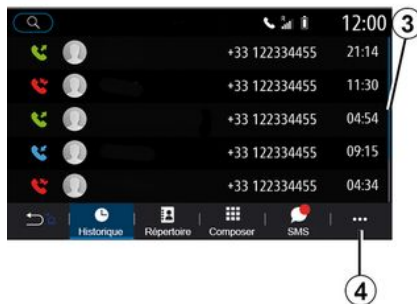


一部の設定は、マルチメディアシステムによって保存されるために、エンジンの実行中に変更する必要があります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

スクロールバー

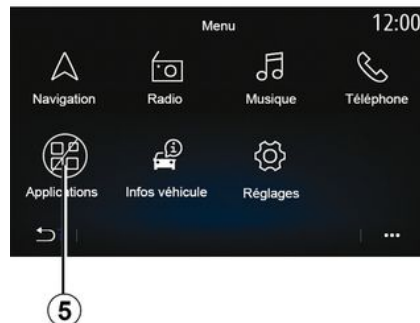


バー **3** には、ページの現在の画面の位置が示されます。マルチメディア画面を上下にスワイプしてリストをスクロールして、ページ内を移動します。

ポップアップメニュー

大半のシステムメニューからは、ポップアップメニュー **4** 使うことで、マルチメディアシステムのサブメニュー（お気に入りの削除、現経路の変更、設定の変更など）や、お使いのマルチメディアシステムの取扱説明書にアクセスできます。

使用可能な機能



国によっては、その法令に基づき、運転中は「動画」、写真、チュートリアル、特定の設定に代表される機能にアクセスできないことがあります。

使用不能な機能は、アイコン **5** により示されます。

使用できない機能にアクセスするには、車両を停止します。

注: 国によっては、その法令に基づき、アプリケーションにアクセスするにはパーキングブレーキをかけなければならない場合があります。詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。

クリーニング

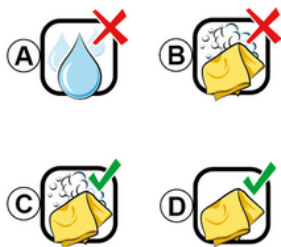
クリーニングの推奨事項

いずれの場合も、清潔で毛羽立ちのない柔らかいマイクロファイバークロスを使用してタッチスクリーンを清掃します。

車両に装備されている画面の種類に応じて、次の対応クリーニング方法を使用します。

- ドライクリーン
- 石鹸水で清掃。

マルチメディア画面に適用するクリーニングモードを確認するには、「関連するクリーニング推奨の画面のリスト」を参照してください。



画面の種類に応じて、次の推奨されるクリーニングを確認してください。

A. : アルコールベースの流体は使用せず、流体の塗布または散布もお止めください。

B. : 石鹸水で少し湿らせたマイクロファイバークロスを使用してクリーニングするのはお止めください。

C. : 少し湿らせたマイクロファイバークロスを使用して石鹸水でクリーニングしてください。

D. : 乾いたマイクロファイバークロスで拭いてください。



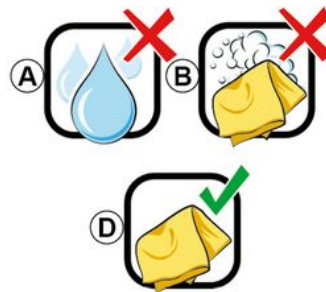
アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。



クリーニング製品を画面に注入または噴射しないでください。

ケミカルクリーニング剤または家庭用製品は使用しないでください。デバイスは液体に接触しないようにし、湿気にさらさないように注意してください。その場合、表面または電装品が劣化または損傷する可能性があります。

ドライクリーン



清潔で、毛羽立ちのない、柔らかい乾燥したマイクロファイバークロスのみを使用して、タッチスクリーンを清掃して、アンチグレア材料を損傷しないようにします。

マルチメディア画面に圧力がかかり過ぎないように注意し、画面に傷が付く恐れのあるクリーニング用具（ブラシ、粗目の布巾など）は使用しないでください。

クリーニング

Écran avec les recommandations de nettoyage associées



アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。



クリーニング製品を画面に注入または噴射しないでください。

ケミカルクリーニング剤または家庭用製品は使用しないでください。デバイスは液体に接触しないようにし、湿気にさらさないように注意してください。その場合、表面または電装品が劣化または損傷する可能性があります。



画面の種類に応じて、次の推奨されるクリーニングを確認してください。

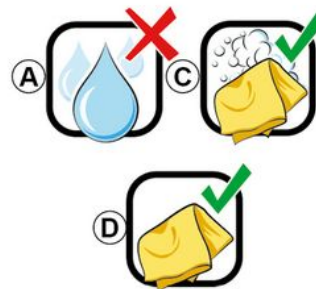
A. : 液体、アルコール含有液、液体の塗布または散布はお止めください。

B. : 石鹸水で少し湿らせたマイクロファイバー布巾を使用してクリーニングするのはお止めください。

C. : 少し湿らせたマイクロファイバー布巾を使用して石鹸水でクリーニングしてください。

D. : 乾いたマイクロファイバー布巾で拭いてください。

石鹸水で清掃



石鹸水で湿らせた清潔で毛羽立ちのない柔らかいマイクロファイバークロスを使用して、画面をやさしく拭きます。

すぐには、水だけで湿らせたマイクロファイバークロスを使用して、画面を静かに拭きます。

クリーニング

1

乾いたマイクロファイバークロスを使用して、やさしく拭き取ります。



アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。



クリーニング製品を画面に注入または噴射しないでください。

ケミカルクリーニング剤または家庭用製品は使用しないでください。デバイスは液体に接触しないようにし、湿気にさらさないように注意してください。その場合、表面または電装品が劣化または損傷する可能性があります。

進む／止まる

作動



マルチメディアシステムの始動:

- 車両発進時、
- マルチメディアパネルまたは集中制御上の制御ボタン **1** を短押しした時。

停止



マルチメディアシステムのスイッチは、次の方法で OFF にできます。

- マルチメディアパネルまたは集中制御上の制御ボタン **1** を短く押すと、次のことができます。
 - ラジオ / 音楽をオフにします。
 - 画面をオフにします。
 - スタンバイ。
- 車両のドアのロック時。

時間 / 日付画面



この画面は、「スタンバイ」機能を選択すると表示されます。

追加、ウィジェットの管理

1

ホームページのカスタマイズ



システムにはカスタマイズ可能ないくつかのホームページがあり、ナビゲーションやラジオ、設定などの機能にアクセスできるいくつかのウィジェットがあります。

ホームページウィジェットの1つを押して機能にアクセスするか、場合によってはメイン画面から直接機能を制御します（ラジオ局の変更や電話へのアクセスなど）。

ウィジェットを追加、削除、または変更することによって、ホームページを設定することができます。

ホーム画面カスタマイズ設定にアクセスするには、ホーム画面からマルチメディア画面 **1** を長押しします。



ウィジェット設定はプロフィールにリンクされています。プロフィールが変更されると、ウィジェットの表示も変わります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



ウィジェットの追加

カスタマイズしたいホーム画面 **A** を選択します。

ゾーン **B** で、表示したいウィジェットを選択します。選択したウィジェットは、操作を確認するために色が変わります。

ウィジェットを、ゾーン **B** から、ホーム画面 **A** 上の希望位置にドラッグアンドドロップします。

ウィジェットのカスタマイズ

画面（の選択／位置）にタッチしてゾーン **B** 内のウィジェットを選び、ゾーン **A** 内の最終位置を選択します。

ウィジェットを別のページに移動するには、ホームページを長押しし、ウィジェットを選択してから、目的のページにドラッグアンドドロップします。

注: 一部のウィジェットは、そのサイズに応じて、1回だけ使用できます。指定された関数のウィジェットはページ上で1回だけ使用できます。

追加、ウィジェットの管理



ウィジェットサイズ

ウィジェットの端をピンチして広げることで、ウィジェットのサイズを調整することができます。サイズ制限に達すると、赤いフレームが表示されます。

車両装備によっては、バー C でウィジェットサイズを選択できます。アプリケーションによっては、1つのサイズしかないものもあります。ホーム画面に表示されるウィジェットの数は、マルチメディア画面の表示形式によって異なります。ホームページを長押しして、すべてのホームページを確認します。

「アドレス」および「連絡先」ウィジェット

この2つのウィジェットを設定するには、サービスをアクティブにする必要があります ➔ 79。

« アドレス »

マルチメディアシステムが「ナビゲーション」メニューを表示します。

お気に入りや通話履歴から、または手動入力で、One Touchとして指定する住所を選択します。

« 連絡先 »

マルチメディアシステムは、電話の連絡先リストを指示します（電話がマルチメディアシステムに接続されている場合のみ）。

電話帳から、One Touchとして指定する連絡先を選択します。

注: これら 2 つのウィジェットに関連するデータは、お使いの電話がマルチメディアシステムに接続されていない場合でもマルチメディアシステムに保存されます。データは非秘密データとして扱われます。

ウィジェットの削除



削除するウィジェットを長押しします。登録を確認するために色が変わります。「削除」ボタン 2 上でドラッグアンドドロップするか、ウィジェットをゾーン B にスライドさせます。

注: 選択/位置は、画面に触れ、該当ウィジェットを選択し、「削除」ボタン 2 を押すだけでウィジェットを削除できる最も効率的な方法です。

追加、ウィジェットの管理

1



横位置モードでは、すべてのホームページの全体表示を表示することができます。ウィジェットを削除するには、ポップアップメニュー **3** から「削除」ボタンを押します。

選択した内容に応じて、次を選択します。

- 削除したいウィジェット。選択したら「削除」ボタン **4** を押します。
- 全画面のウィジェット。選択したら「すべて選択」ボタン **6** > 「削除」 **4** の順に押します。

ホームページの削除

ホームページを削除するには、ページ上のすべてのウィジェットを削除する必要があります。

ポップアップメニュー

このポップアップメニュー **3** を使うと次のことを行えます。

- ホーム画面上にある 1 つ以上のウィジェットを削除すること。
- ホームページのデフォルト設定を復元する

保存および終了

ホームページの設定を保存して終了するには、「戻る」ボタン **5** を押します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

音声認識の使用

はじめに

お使いのマルチメディアシステムは音

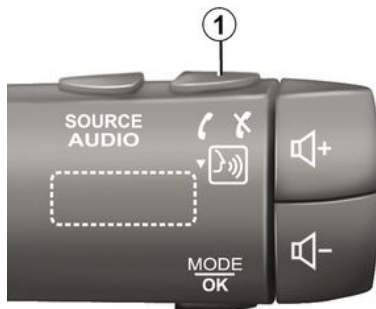
声認識システム  を備えており、この認識システムを使うと、マルチメディアシステム機能や電話機能のいくつかを音声コマンドで制御できます。ステアリングホイールを握ったまま、マルチメディアシステムまたは電話を使用することができます。

注: 音声認識ボタンの位置は変動します。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

音声認識システムは、音声もコマンドも記録しません。これには、ユーザーとやり取りしたり、次のような質問に答えることができる音声アシストは含まれません。

- 「Parisの天気を教えてください。」
- 「今朝は、私の経路上で事故などが生じていますか？」

音声制御



(装備により異なります)

音声制御を使用して、画面にタッチすることなく、電話帳の連絡先を呼び出し、目的地を入力し、ラジオ局などを変更することができます。**1** を押し、システムによる音声指示と画面上に表示される指示に従ってください。

注: この機能は、ナビゲーションシステム装備車両でのみご利用いただけます。

作動

車両装備によっては、車両の音声認識ボタン  を押します。

注: 音声認識を使用する場合は、必ず確認音が鳴ってから話してください。

作動解除

音声認識システムを無効化するには、車両の音声認識ボタン  を長押しするか、ビーブ音の後に「終了」と発声します。

 音声認識使用中の合成音声による案内を中断するには、ボタン **1** を押すか、コマンドで指示します。ブザー音が鳴れば、発音できます。

音声認識によるマルチメディアの使用

マルチメディアシステムのメイン音声コマンド

音声認識メイン画面に戻すには、「メイン画面」または「戻る」と発声します。

音声認識メニューを終了するには「終了」と発声します。

各システム画面や使用可能な機能についての説明を聞くには「ヘルプ」と発声します。

音声認識一覧内を移動するには、「次ページ」、「前ページ」、「最初の

音声認識の使用

1

ページ」、「最後のページ」と発声します。

「音声認識」メニュー

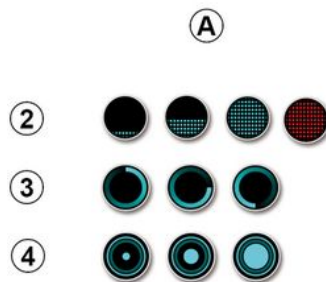


メイン音声コマンドメニューでは、音声コマンドを使用して次の機能を制御できます。

- « 電話 »;
- « ナビゲーション »;
- « オーディオ ».

i 画面上で青で表示されている機能は、マルチメディアシステムが認識している有効なコマンドです。

音声認識インジケータ A



音声認識インジケータ A は、以下のように色が変わるマーカーとアイコンで構成されています。

- 2 アイコンは、マルチメディアシステムがリスニングモードであることを示します。以下のように変化するインジケータの色 A は、次のような音声認識のパフォーマンスを示します。
 - 低い青のマーカー：平均的な音声認識。
 - 半分の青色のマーカー：良好な音声認識。
 - 完全に青色のマーカー：最適な音声認識。
 - 赤いマーカー：ユーザーの音声が大きすぎます。システムがコマンドを解釈するのが困難です。

- 3 アイコンは、マルチメディアシステムがユーザーのコマンドを分析している状態を示します。
- アイコン 4: マルチメディアシステムが応答中です。

i 機能がグレー表示されている場合は、使用できないか、接続されていないことを示します。この場合マルチメディアシステムは、電話などへの接続を促します。

i わかりやすく大きな声で発音してください。音声認識インジケータを使用して音声認識を最適化します。

音声認識の使用

音声認識によるナビゲーションの制御



マルチメディアシステムに搭載されて

いる音声制御  を使用して、目的地を入力する方法がいくつかあります。



« 目的地 »

音声コマンドを使用して完全な住所を入力する。

音声制御ボタン  を押して、メイン音声制御メニューを表示します。

信号音の後に「移動」と発声し、目的地の完全な住所（番地、通り名、市区町村、近隣地）を指示します。

認識した住所をシステムが返します。目的地を確認してナビゲーションガイダンスを開始します。

« 自宅 »

音声コマンドを使用して自宅の住所を取得します。

音声制御ボタン  を押して、メイン音声制御メニューを表示します。音声信号の後で、「自宅に帰る」と言います。

システムに、事前に記録した自宅の住所が表示されます。目的地を確認して、ガイダンスを開始します。

« 職場（設定なし） »

仕事場の住所を取得して音声コマンドを使用します。

音声制御ボタン  を押して、メイン音声制御メニューを表示します。音声信号の後で、「仕事に行く」と言います。

システムに、事前に記録した仕事場の住所が表示されます。目的地を確認して、ガイダンスを開始します。

注：「自宅に帰る」または「仕事場の住所」音声機能を使用するには、住所を保存する必要があります。

住所が登録されていない場合、マルチメディアシステムは住所を入力するよう提案します。

« お気に入り »

音声コマンドを使用して、お気に入りに保存されたアドレスを取得します。

音声制御ボタン  を押して、メイン音声制御メニューを表示します。

音声認識の使用

信号音の後で「お気に入り」と発声し、目的地を選択します。

入力された住所がシステムに表示されます。目的地を確認して、ガイダンスを開始します。

「目的地履歴」

音声コントロールを使用して入力済みのアドレスを取得します。

音声制御ボタン  を押して、メイン音声制御メニューを表示します。

信号音の後で「目的地履歴」と発声し、目的地を選択します。

入力された住所がシステムに表示されます。目的地を確認して、ガイダンスを開始します。

« POI »

音声コマンドを使用して関心のある場所を検索します。

音声信号の後、「サービスステーションを検索する」または「ホテルを検索」と言います。

ナビゲーションシステムでは、さまざまなカテゴリに分かれたいくつかの POI（ランドマーク）が提案されます。

外国の目的地

住所を言う前に国を変更する必要があります。

音声制御ボタン  を押して、メイン音声制御メニューを表示します。信号音が聞こえたら「国を変更」>「検索したい国」の順に発声します。2 回目のピープ音の後で、目的地の住所を言います。

注：システム言語で国がサポートされている限り、国を変更することができます。

外国の「POI」

海外渡航中に、カテゴリに対する一部の音声コマンドが認識されない場合があります。

ランドマークについて検索したい場合は、「カテゴリ別の POI」と言います。マルチメディアシステムに、ランドマークが表示されます。いずれかのカテゴリを選択します ➔ 34。

音声認識によるお気に入りの使用

保存されたアドレスは、音声認識を使用して直接呼び出すことができます。

音声コマンドボタン  を押して音声コマンドメインメニューを表示します。

音声信号の後で「お気に入りを表示」と言います。

保存されているお気に入りが表示されます。

音声認識による「ラジオ」制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声コマンドを使用して、音楽、ラジオをオンにし、またウェーブバンドを変更できます。

音声コマンドボタン  を押して音声コマンドメインメニューを表示します。

音声信号の後で、次のように言います。

– 「FM 放送局」、「AM 放送局」、「DAB 放送局」。

または

– 「X 放送局」とラジオ放送局名である X。

または

– 「放送局」と希望周波数（「91.8 放送局」であれば、「91.8 放送局」のように発声します）。

音声認識の使用

音声認識による「音楽」制御



マルチメディアシステムに搭載されている音声コマンドを使用して、音楽（オーディオトラック、プレイリストなど）を再生できます。使用可能な外部入力音源には次のものがあります。

- 「USB」（USB ポート）、
- 「AUX」（Jack ソケット）。

音声コマンドボタン  を押して音声コマンドメインメニューを表示します。

音声信号の後で、次のいずれかを言います。

- 「再生アーティスト」に続いてアーティストの名前

または

- 「再生トラック」に続いてトラックの名前

または

- 「再生アルバム」に続いてアルバムの名前

または

- 「再生ジャンル」に続いてジャンルの名前

または

- 「プレイリスト」に続いてプレイリストの名前

選択した音源によって、以下のことを行うことができます。

- 次 / 前のトラックを再生、

または

- すべてのタイトルを再生 / 音楽リストを表示

「音源を変更」

メインメニューで「音源を変更」と言います。

音声コマンドボタン  を押して音声コマンドメインメニューを表示します。

音声信号の後で、「再生」に続いて音源名を言います。

- 「USB を再生」

または

- 「FM を再生」

または

- 「Bluetooth® を再生」

音声認識による電話の使用

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、電話番号または連絡先を呼び出すことができます。

音声コマンドボタン  を押して音声コマンドメインメニューを表示します。

音声信号の後で、次のいずれかを言います。

- 「発信」>「発信先の名称」の順に発声します。

または

- 「ダイヤル」>「発信先の電話番号」の順に発声します。

注: 数字を伝える際には一度に1つまたは2つまでにすることをおすすめします。

話した番号がシステムに表示されたら、「ダイヤル」と発声してその番号に発信するか、「修正」／「戻る」と発声して別の番号を伝えます。

音声認識の使用

1



音声制御を使用すると、通話履歴を表示し、「SMS」を読むこともできます。

音声コマンドボタン  を押して音声コマンドメインメニューを表示します。

音声信号の後で、次のいずれかを言います。

- 「通話履歴」または「最近の通話」。

または

- 「SMSを読む」または「SMSを表示する」

注: 読めるのは運転中に受信した「SMS」のみです。

« ヘルプ »

音声機能の使用に関する詳細については、音声コマンドボタンを押し、ビープ音の後で「ヘルプ」と発声すると表示される情報をご覧ください。

「ヘルプ」機能はいつでも使用できます。具体例を挙げると、「電話」画面で「ヘルプ」と発声すると、合成音声がこの機能の使用を手助けしてくれます。

マルチメディアによる電話の音声認識の使用

お使いの電話の音声認識システムをマルチメディアシステムと併用するには、次の操作が必要です。

- お使いの電話をマルチメディアシステムに接続します ➔ 61。

- 電話の音声認識機能がマルチメディアシステムと互換性があることを確認します。

注: お使いの電話の音声認識機能とマルチメディアシステムと互換性がある場合は、5 シンボルが「Bluetoothデバイス一覧」メニューに表示されます ➔ 61。



注: お使いの電話の音声認識機能をマルチメディアシステムと併用したい場合は、現在地がネットワーク接続可能範囲内の場所であるかご確認ください。

マルチメディアシステムで電話の音声認識機能を作動 / 作動解除するには、

車両の音声認識ボタン  を押したままにします。

マルチメディアシステムで音声認識機能を有効/無効にするには、車両の音声

認識ボタン  を押します。

音声認識の使用



マルチメディア画面 **B** に、お使いの電話の音声制御メインメニューが表示されます。

マルチメディアシステムでお使いの電話の音声認識機能を再起動するには、

車両の音声認識ボタン  を軽く押すか画面 **B** を軽く押します。

メイン音声制御メニューから、音声制御を使用して電話のいくつかの機能を制御できます。

次の場合には音声認識が無効化されます。

- 車両の後退時、
- 通話中。

注: 音声認識セッションは、動作のない状態が数秒間続くと、自動的に作動解除されます。

 マルチメディアシステムで電話の音声認識を使用する場合は、操作に必要な携帯電話データの移動に、電話のサービス契約に含まれない追加料金がかかる場合があります。

ワンショット機能の使用

ワンショット機能を使うと、「電話」、「連絡先」、「ナビゲーション」、「目的地」メニューなどを介さなくても、より直接かつ正確に音声コマンドを実行できます。

コマンドを直接使用して、電話機能を使用できます。

- 「Didier に電話して」。
- 「オフィスに電話して」
- ...

コマンドを直接使用して、ナビゲーション機能を使用できます。

- ParisのChamps-Élyséesに進みます。
- 「自宅に帰る」
- ...

マルチメディア機能を使用するには、コマンドを直接使用できます。

- 「Radio France という放送局を選局して」。
- 「Bluetooth® を再生」
- ...

この機能を使用するには、音声認識ボタン  を押し、信号音を待ってからコマンドを発声します。

カードキー

カードキー

2

地図を表示する

地図にアクセスするには、ホーム画面から、「メニュー」>「ナビゲーション」の順に押します。

地図には「ナビゲーション」ウィジェットからもアクセスできます。

地図には現在の位置と設定した情報（POI、天気、交通情報などを表示）が表示されます。

ナビゲーションマップを移動するには、マップを長押しし、画面を指で、必要な方向にスライドさせます。

現在位置に戻るには **Q** を押します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



走行中の行程がある場合の「マップ」画面

A. 到着時間、交通による追加時間、次のステージまたは最終目的地までの残りの距離（パラメータに応じて異なる）などの行程の情報。

注: ゾーン **A** 上で 1 回押すと、マルチメディアシステムによる、行程の各区間に関する詳細の表示を有効化できます。

B. 次の数マイルの交通状況に関する情報。進行中のルート上の事象のリストを表示するには、この領域を押します。

C. ポップアップメニュー。

D. 表示 / ズーム:

– 拡大および縮小ボタンを表示するには、「土」ボタンを押します。

– 表示を 2D / 2D 北向き、3D / 3D Inception、「交通情報」表示にするには「表示」ボタンを押します。

E. 場所とお客様がオンになっている通りの名前。押して、補助機能にアクセスします。

F. ナビゲーションメニュー。

G. 前の画面に戻ります。

注: メインメニューに戻るには長押しします。

H. 危険エリア警告。

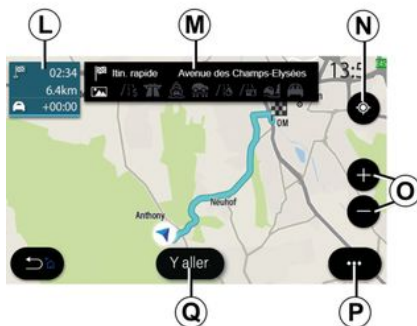
J. 速度制限インジケータパネル。

K. ルートが進行中であるときに、次の道路が回転し、ルート上の隣の通りの名前が記載されています。スピーカーアイコンを 1 回押して、ガイダンス音声をアクティブ / 非アクティブにし、最後の音声指示を繰り返します。

L. 到着時間、交通状況による遅延時間、距離などの行程の情報。ユニットをタッチして、行程のステージを表示します。

M. 使用されている道路タイプ（高速道路、有料道路、カート）に関する情報。

カードキー



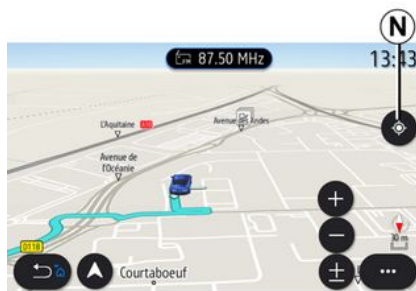
「ルートの算出」画面

N. ルートが進行中の場合、この機能を使用して、地図を移動した後に進行中のルートに戻ることができます。

O. 拡大: 拡大と縮小ボタン。

P. ポップアップメニュー。

Q. 選択経路での走行を開始するには、「スタート」ボタンを押します。



走行中の行程がない場合の「マップ」画面

現在地に戻すには **N** 機能を使います。



「交通情報」画面

V. 地図上またはイベントのリストによる交通事象の表示。

W. 交通渋滞発生エリアを避けるには、案内中に「すべて回避」ボタンを押します。

進行中のルートがないポップアップメニュー

「設定」メニューにアクセスするには、ポップアップメニューを押します。

「ルート」タブでは、次の要素に関する設定にアクセスできます。

- « ルートのタイプ »;
- 「迂回する」。
- « 料金所の許可 »;
- « 高速道路の許可 »;
- 「フェリー利用を許可」。
- « カートレインの許可 »;
- « ルートガイドの自動提案 »;
- « 他のデバイスと共有した目的地 »;
- « 時間制限道路の許可 »;
- 「有料道路走行を許可」。
- « 回避エリア »;
- « 未舗装道路を許可する »。

「マップ」タブでは、次の要素に関する設定にアクセスできます。

- 「地図の色」。
- « 天気の表示 »;
- 「2D/3D 北向き、2D/3D Inception、交通情報」表示。
- « トラフィック表示 »;
- « 標識認識 »;

カードキー

- « 自動拡大 »;
- « マイカー »;
- « 交差点ビュー »;
- 「ランドマークを表示」。
- « 天気の表示 »。

進行中のルートがあるポップアップメニュー

ポップアップメニューを押して、次の情報にアクセスします。

- « ルートの取消し »;
- « ガイダンス音声 »;
- 「経路詳細」。
- « 設定 »。

« ルートの取消し »

進行中のナビゲーションを停止します。



« ガイダンス音声 »

音声案内を有効化／無効化するには、**1** ボタンを押します。

注: この機能を解除すると、マルチメディアシステムから音声ガイドによる指示は行われません。

「ガイダンス音声」設定にアクセスできます。

- ポップアップメニュー **C** から
- 音声情報がマルチメディアシステムによって出力される場合は、音量コントロールを押します。



注記:

- 音量調節は、現在の音源（「ガイダンス音声」、「ラジオ」、「電話」）についてのみ使用できます。
- 関連情報を示す音量インジケータ **2** が表示されます。音量レベルの調整には使用できません。



「経路詳細」

この機能は、現在のルートの詳細を表示するために使用されます。

「概要」タブでは、出発地の住所と目的地的住所、および走行経路を表示できます。

「道路リスト」タブでは、経路詳細を表示できます。

「区間」タブでは、各区間や、その間の距離および時間を表示できます。

カードキー

表示モード



表示／拡大／縮小ボタン **D** を押す方法で複数の表示モードを選択できます。

ルートビュー

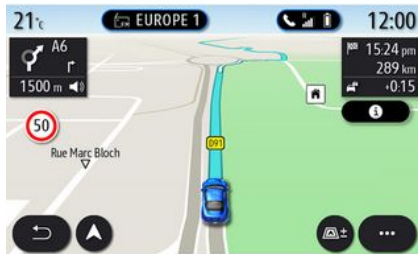
地図に完全なルートが表示されます。

2D 表示

現在の位置が地図に表示され、移動する方向に直面しています。

2D/ 北向きビュー

地図は現在の位置を北向きに表示します。



3D 表示

地図は、現在の位置を 3D 地図の表面に表示します。移動方向に自動的に向くようにします。



表示 3DInception

(装備により異なります)

地図が少し上向きになっており、視界が遠距離になります。移動方向に自動的に向くようにします。

ガイド

ルートが計算されると、ガイドが有効になります。マルチメディアシステムは、ルートに沿ってすべての方法を指示し、複数の段階にわたって従う方向の各交点を通知します。

段階 1: 準備

マルチメディアシステムは、ナビゲーション音声を使用して、すぐに操作を実施する必要があることを知らせます。

カードキー

段階 2: 注意喚起

マルチメディアシステムは、実行する必要がある操作を通知します。

例: 「400メートルで、次の出口がある」。

画面には、操作の詳細な表示または3D画像が表示されます。

段階 3: 操作

マルチメディアシステムは、操作を実施する必要があることを示します。

例: 「次を右に曲がる」。

操作が完了すると、地図が全画面に表示されます。

注: 走行に関する推奨事項に従わない場合、または計算されたルートを終了した場合は、マルチメディアシステムによって新しいルートが自動的に計算します。



車線

次の操作の正しい車線を案内するために、ディスプレイが自動的により詳細なビューに切り替わります。

- 方向矢印のない車線 3: 計算経路に従い通行すべきでない車線。
- 方向矢印のある車線 4: 計算経路に従い通行すべき車線。

注: 操作中に他の車線が表示されることがあります。

「天候」



(入手可能性は販売国によって異なります)

ポップアップメニューから、地図上の気象表示を有効または無効にすることができます。

マルチメディアシステムでは、ルートが進行中の場合に、現在位置周辺と目的地の天気予報を知ることができます。

注: 天候➡79を表示するには、サービスを有効化する必要があります。

カードキー



今後数時間の天気予報を表示するには
気象アイコン **5** を押します。

この情報には、「天候」ウィジェット
からアクセスすることもできます。

行き先を入力

「ナビゲーション」メニュー

2 ホーム画面からカードを押すか、「メニュー」>「ナビゲーション」の順に押します。

音声認識を使用した住所の入力

メニューで、音声認識ボタンを押します。音声信号に続いて、目的地の市区町村、町名、番地、または地域を指示することができます。詳しくは➔21をご覧ください。



ナビゲーションに関する 注意事項

ナビゲーションシステム
を使用したからといっ

て、いかなる場合にも、運転する
際の運転者の責任と警戒がなくな
るわけではありません。



安全のために、この操作
は必ず停止時に行って
ください。



外国の目的地

住所を言う前に国を変更する必要があ
ります。音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示し
ます。

信号音が聞こえたら「国を変更」>
「検索したい国」の順に発声します。
2 回目のビーブ音の後で、目的地の住
所を言います。

注：システム言語で国がサポートされ
ている限り、国を変更することができ
ます。



ナビゲーションメニュー 1 を用いて次
の機能にアクセスできます。

- « 住所の検索 » ;
- « 目的地の履歴 » ;
- « お気に入り » ;
- « POI » ;
- « 座標 » ;
- « ルート » ;
- « トラフィックマップ » ;
- « 設定 » ;
- ...

行き先を入力 オンライン検索

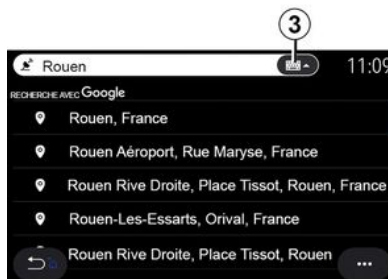


(装備により異なります)

Online Search機能を使用すると、すばやく正確に検索できます。

検索窓 2 に最初の一文字を入力すると、マルチメディアシステムが、該当する番地、町名またはPOI（ランドマーク）の候補を表示します。

3 ボタンを押すと、すべての候補の一覧が表示されます。



「Rouen」の例。

注: マルチメディアシステムによって提供される追加情報は、接続タイプによって異なる場合があります。



「ナビゲーション」メニューからPOI（ランドマーク）を検索する場合、候補の一覧 5 を表示できます。

POIの詳細については、このセクションの「POI」をご覧ください。

地図表示 4 は、各候補の地図上での位置を示します。

2



« 住所の検索 »

このメニューでは、完全なまたは部分的な住所（国、市区町村、郵便番号、通り名、番地、交差点など）を入力できます。最初に使用するとき、目的地の国を選択するよう求められます。キーパッドを使用して町/市名または郵便番号を入力します。

行き先を入力

2



検索窓 **6** では、番地を入力できます。手紙を入力すると、同様の通り名が表示されます。次のようなことができます：

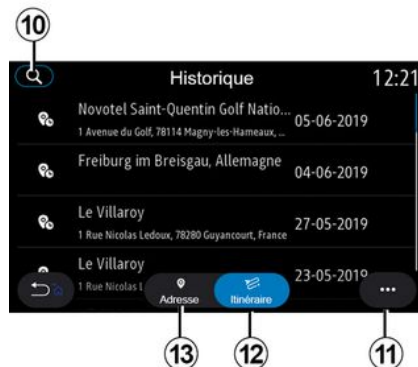
- 選択内容を確定するには、画面上に表示されている通り名を押します。
- 検索条件に合致する候補の一覧を表示するには、**7** ボタンを押すか、候補番地一覧 **9** をスクロールします。

注：

- システムは、メモリに入力された直近の市区町村を記憶します。
- デジタルマップでシステムに認識されている住所だけが許可されています。

ポップアップメニュー **8** では次のことを行えます。

- 選択したアドレスをお気に入りに保存します。
- 選択した住所をお気に入りに保存し、目的地の座標（緯度と経度の値）を入力します。
- 近くのPOIを検索して表示します。
- ...



« 目的地の履歴 »

このメニューを使用して、最近使用したアドレスのリストから宛先を選択します。これらは自動的に保存されます。

「アドレス」タブ **13** では、記憶されている目的地の履歴にアクセスできます。目的地を選択してガイドを開始します。

「ルート」タブ **12** では、記憶されている経路の履歴にアクセスできます。ルートを選択してガイドを開始します。履歴に保存されている住所または経路の検索には虫眼鏡 **10** を使用できます。

ポップアップメニュー **11** では、「アドレス」**13** と「ルート」タブ **12** 内で次のことを行えます。

- 選択した1つ以上のアドレスについて「削除」すること。
- « すべて削除 »；
- « 日付順並べ替え »；
- « 名前順並べ替え »；
- « お気に入りに保存 »。

ガイダンス中に、新しい目的地を検索するときは、次のいずれかのように設定できます。

- 停止
- 選択できます。

行き先を入力



« お気に入り »

「アドレス」タブ **16** では次のことを行えます。

- « 住所を追加する » ;
- 「自宅」**18** または「職場（設定なし）」の場所 **17** への道順案内を実行すること。
- お気に入りに保存されている住所へのナビゲーションガイダンスを実行します。

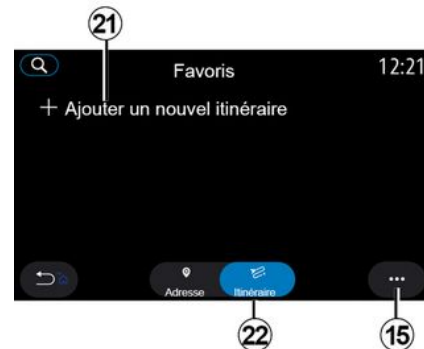
「自宅」**18** または「職場（設定なし）」**17** の初回選択時には、システムが住所の登録を求めます。

注: マルチメディアシステムには、「自宅」および「職場（設定なし）」の住所を 1 つのみ保存できます。



「住所を追加する」タブ **14** では次のことを行えます。

- 「名前」**19** を実行して新たなお気に入りの目的地に名前を付けること。
- 「アドレス」**20** を実行して次の検索機能を利用すること。
- « 住所の検索 » ;
- « 目的地の履歴 » ;
- « POI » ;
- « 座標 » ;
- « マップ から » ;
- « 現在地 » .
- 「カスタムPOI」
- « 電話 » ;
- « 充電タイプ » .



「ルート」タブ **22** では次のことを行えます。

- « ルートを追加する » ;
- お気に入りに保存されたルートを実行します。

「ルートを追加する」タブ **21** では次のことを行えます。

- 「名前」を実行して、新たなお気に入りの経路に名前を付けること。
- 「ルート」を実行して、次の検索オプションにアクセスすること。
- 「出発位置」。
- « 中継地点として追加する » ;
- 「直近の使用目的地」。
- « 目的地として追加する » .

「経由地を追加」および「目的地として追加する」検索の内容によっては、次のオプションを選択できます。

行き先を入力

- « 住所の検索 » ;
- « 目的地の履歴 » ;
- « POI » ;
- « 座標 » ;
- « マップ から » .

ポップアップメニュー **15** では次のことを行います。

- « 変更 » :
- お気に入りの「名前」 **19** を実行すること。
- 選択したタブに応じた、お気に入りの「アドレス」 **20** または「ルート」を実行すること。
- 「削除」 (1つ以上の住所を選択します)
- « すべて削除 » ;
- « 名前順並べ替え » .



« POI »

ランドマーク (POI) は、場所 (出発地点、目的地、ルート上など) の近くのサービスエリア、施設、ツーリスト設備です。

ランドマークは、「ガソリンスタンド」、「パーキング」、「住居」といったカテゴリ別にグループ化されています。

ランドマークの中から任意の目的地を選ぶには、「ルビゲーション」メニュー > 「POI」の順に選択します。



「名前で検索する」

検索窓 **23** に POI カテゴリ (レストランやショップの名称など) を入力します。

結果一覧 **24** から POI を選択します。

注: オンラインでランドマーク➡ **79** を検索するには、サービスを有効化する必要があります。

ポップアップメニュー **25** では次のことを行います。

- 「リセット」検索を実行すること。
- キーボードのタイプを選択します:
- « アルファベット » ;
- « AZERTY配列 » ;
- « QWERTY配列 » .

「カテゴリで検索する」

ナビゲーションシステムが、選択されたタブに従って、選択されたカテゴリ内のいくつかの POI を提案します。

- 進行中のルートなし:

- « 現在地 » ;
- 「都市内」 (都市名を入力) 。

- ルートが進行中の場合:

- 「経路沿い」 。
- « 目的地 » ;
- « 現在地 » ;
- 「都市内」 (都市名を入力) 。

ポップアップメニュー **25** では次のことを行います。

- 「ワイルド結果」を表示すること。
- « 距離別並べ替え » .

行き先を入力



一覧 24 から POI を選択します。

機器に応じて、マルチメディアシステムは次の目的で使用できます。

- 「通話」を押す方法で特定の POI に直接連絡（し、予約または情報提供を依頼する）こと。
- 「スタート」を押す方法で希望 POI への案内を開始すること。
- ディスプレイ 26 から目的地のプレビューを見ること。

ポップアップメニューから、お気に入りのアドレスを追加することができます。



燃料価格

（装備により異なります）

POI「ガソリンスタンド」には、現在地周辺のガソリンスタンドや、自車両の種類に応じた燃料価格が示されます。

燃料の価格はカラーインジケータに関連付けられています。

- 緑: 最低価格を提供するガソリンスタンド
- オレンジ: 平均価格を提供するガソリンスタンド
- 赤: 最高価格を提供するガソリンスタンド

注: 燃料価格→79を表示するには、サービスを有効化する必要があります。



「座標」

「ナビゲーション」メニューから「座標」を押します。

このメニューを使用して、座標を入力して目的地を探すことができます。

具体的には、地域を選択し、キーパッドを使用して「緯度」と「経度」を入力できます。

座標入力後、この目的地に直接向かうことを選択する場合は「スタート」を押し、街頭座標の場所を地図に表示する場合は「マップ」を押します。

ポップアップメニュー 27 から次のように操作します。

- 座標を UTM 形式で入力する場合は「UTM」を押します。

行き先を入力

- 十進数の度、十進数の度分、または十進数の度分秒で入力する場合は「単位とフォーマット」を押します。
- « お気に入り」に保存 »。



« ルート »

この機能を使用して、関連する停車地のある目的地を管理します。経路メニューにアクセスするには、メインメニューから「ナビゲーション」>「メニュー」>「ルート」の順に押します。

進行中のルートなし:

- « ルートの作成 »;
- « 回避エリア »。

ルートが進行中の場合:

- « ルートの取消し »;
- « ルートの編集 »;

- « 回避エリア »;
- « 概要 »;
- « ルートの詳細 »;
- « 旅程のシミュレーション »。

« ルートの取消し »

この機能を使用して、現在のルート进行をキャンセルします。

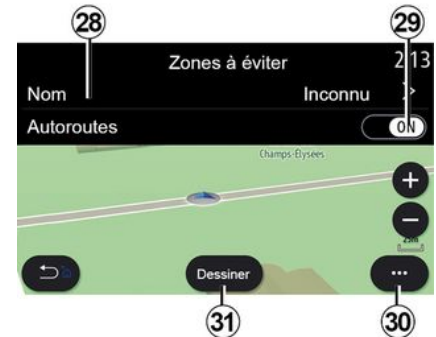
« ルートの編集 »

この機能を使用して、現在のルートを変更します。

- « スタート地点 »;
- « 中継地点として追加する »;
- « 目的地として追加する »。

「経由地を追加」および「目的地として追加」機能には、次のオプションがあります。

- « 住所の検索 »;
- « 目的地の履歴 »;
- « POI »;
- « 座標 »;
- « マップ から »;
- ...



« 回避エリア »

この機能を使用して、設定または定義された地理的エリアを回避します。

「回避エリア」メニューから、「回避エリアの追加」または「記憶済み回避エリア」を押します。キーパッドで変更するには、「名前」28を押します。

29ボタンを使用して、回避したい高速道路上の任意の区間を選択できます。

国名や市区町村名を手入力するには、ポップアップメニュー 30 から「都市の選択」を押します。

行き先を入力



回避エリアを指定するには「絵」ボタン **31** を押します。

「回避エリア」**32** を表示するには、地図上の該当箇所を短く押します。

ピンチ / スプレッドを選択して、選択したエリアを拡大または縮小します。

選択エリアを回避エリア一覧に追加するには「はい」ボタン **33** を押します。

「回避エリア」を修正するには、回避エリア一覧から修正対象を選択し、地図上の「変更」ボタンを押します。



「回避エリア」メニューのポップアップメニュー **35** で次のものを押します。

– 「削除」（1 つ以上の回避エリアを選択する場合）。

– « すべて削除 »。

虫眼鏡 **34** を押すと、記憶済みの回避エリアを考慮した検索を行えます。



「概要」

この機能を使用して、地図上のすべてのルートを表示します。

この機能を使用するには、ナビゲーションを起動し、ナビゲーションメニューから「ルート」>「概要」の順に選択します。

現在の経路をキャンセルするにはボタン **37** を押します。

進行中のルートの地図を確認するには、画面の一部を指で押したままにして、地図上を移動します。

地図を調整するには、拡大／縮小ボタン **39** を押します。

地図を中央に戻すには、制御ボタン **38** を押します。

行き先を入力

ポップアップメニュー **36** では、次の要素に関する機能にアクセスできます。

- « 設定 »;
- « ルートの詳細 »;
- « ルートシミュレーション »;
- « 国情報 »。
- « お気に入りに保存 »;
- ...

注: ポップアップメニューで提供される機能は、ガイダンスが有効になっているかどうかによって異なります。



« ルートの詳細 »

この機能を使用して、ルートのすべての情報と詳細を複数のタブで表示します。

- « 概要 »;
- « 道路リスト »;

- « ステップ »。

「概要」タブ **41** では、次の情報を表示できます。

- « スタート地点 » **40** ;
- 「到着地」 **43**。
- 「使用経路情報」 **42** (有料道路、フェリー、カートレインなど)。



「道路リスト」タブ **45** では、経路詳細を表示できます。

使用経路情報一覧 **44** では、各種道順、通り名、各区間の残距離や所要時間などを確認できます。

いずれかの経路 **44** を押すと、地図上にその経路を表示でき、矢印 **48** を使用すると、前後の区間に変更できます。



バー **46** には、行程の各区間に関する情報（距離、区間所要時間、到着予定時刻）が表示されます。

ナビゲーションシステムでは、いずれかのステージで何らかの事象を避けるように提示されることがあります。

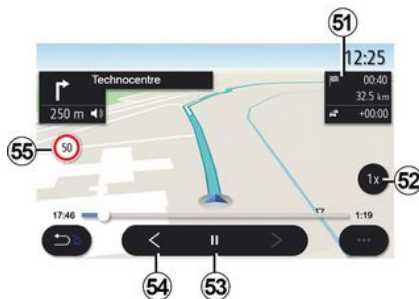
「迂回」ボタン **47** を押すと、ナビゲーションシステムが迂回経路を計算します。

行き先を入力



「ステップ」タブ**50**から、行程のさまざまなステージ（距離、所要時間、到着時間）を表示できます。

一覧**49**内にあるいずれかの区間を押すと、所在地、名称、完全な住所、地理的座標にアクセスできます。



「旅程のシミュレーション」

この機能を使用して、目的地に到着するルートをシミュレーションします。

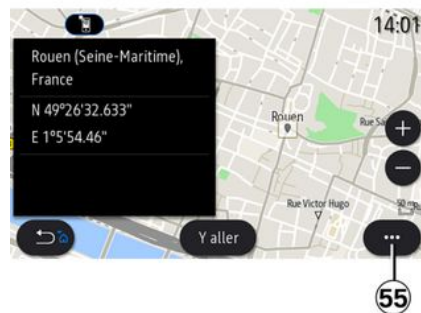
ボタン**53**を押すと、シミュレーションを停止または開始できます。

ボタン**54**を押すと、経路シミュレーションの最初に戻ります。

ボタン**52**を押すとシミュレーション速度を修正できます。

シミュレーション中は、制限速度**55**とゾーン詳細**51**（残距離、到着予定時刻、行程時間）を表示できます。

ゾーン**51**を押すと、経路の残時間表示から到着予定時刻表示に切り替えることができます。



ポップアップメニュー**55**では次のことを行えます。

- 「ワイルド結果」を表示すること。
- 「リセット」検索を実行すること。
- お気に入りの充電ステーションを「お気に入り」に保存すること。
- ランドマーク（POI）を表示または非表示にする
- ...



「トラフィックマップ」

(使用可能性は機器によって異なります)

「トラフィックマップ」機能は、リアルタイムオンライン情報を使用します。

注: 交通情報➡79をリアルタイム表示するには、サービスを有効化する必要があります。

更新された交通情報にアクセスするには、ホーム画面から、「メニュー」>「ナビゲーション」>「ナビゲーションメニュー」6>「トラフィックマップ」の順に押します。

ポップアップメニュー5では「設定」にアクセスできます。

注: 「トラフィックマップ」サービスの利用可否は変動します。



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。

「トラフィックマップ」画面

地図1上または交通事故一覧2内に交通事故情報を表示できます。

拡大／縮小ボタン4を押して地図を調整したり、2本の指を画面上でスライドさせて、拡大／縮小縮尺を調整したりできます。

任意の経路を走行中の状況で地図移動後または拡大／縮小率調整後4にアイコン3を押すと、経路を中央とする表示に戻ります。

任意の経路を走行中でない状況で、地図移動後または拡大／縮小率調整後4にアイコン3を押すと、車両の位置表示に戻ります。



ポップアップメニュー8では、各種ナビゲーション設定にアクセスできます。詳しくは「ナビゲーション設定」セクションをご覧ください。

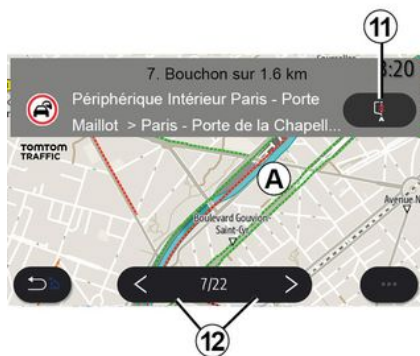
「すべて回避」オプション9を使うと交通渋滞発生エリアを回避できます。

交通イベントリスト

交通事故一覧7では、経路沿いで発生している事故の詳細情報にアクセスできます。

一覧10からいずれかの事故を選択すると、地図上に詳細が表示されます。

交通



交通事故の詳細

一覧からいずれかの事故を選択すると、その詳細が表示され、経路沿いの関連区間が地図 **A** 上に表示されます。

矢印 **12** を使用して交通事故をスクロールし、ボタン **11** を押して、選択した事故を回避するようにシステムに指示することができます。



交通情報バー

経路表示上の交通情報バー **13** に、走行中の経路沿いで発生している交通事故の情報が表示されます。

交通情報バー **13** を押すと、交通事故の詳細を含む一覧が表示されます。

ナビゲーションの設定

2



「設定」メニュー

ホーム画面からカードを押すか、メインメニューから「ナビゲーション」を押します。

「ナビゲーションメニュー」>「設定」の順に選択します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

« ルート »

「ルート」タブ 1 では、次の要素に関する設定にアクセスできます。

- « ルートのタイプ » ;
- « 代替ルートを有効にする » ;
- « 迂回路を使用する » ;
- « 料金所の許可 » ;
- « 高速道路の許可 » ;
- « フェリー利用を許可 » 。
- « カートレインの許可 » ;
- « ナビゲーションの学習機能 » ;
- « 他のデバイスと共有した目的地 » ;
- « 時間制限道路の許可 » ;
- « 有料道路走行を許可 » 。
- « 回避エリア » ;
- « 未舗装道路を許可する » ;
- ...

« ルートのタイプ »

この設定には、「Fast」、「エコ」または「ショート」の経路オプションがあります。

« 代替ルートを有効にする »

「ON」または「OFF」を押す方法で代替経路を許可または禁止できます。

« 迂回路を使用する »

迂回を有効化し、「常に」、「尋ねる」または「決して」に構成できます。

« 料金所の許可 »

この設定では、有料道路走行を有効化し、「常に」、「尋ねる」または「決して」に構成できます。

« 高速道路の許可 »

「ON」または「OFF」を押す方法で、経路上での高速道路走行を有効化／無効化できます。

「フェリー利用を許可」

「ON」または「OFF」を押す方法で、経路上でのフェリー利用を有効化／無効化できます。

« カートレインの許可 »

「ON」または「OFF」を押す方法で、経路上でのカートレイン利用を有効化／無効化できます。

« ナビゲーションの学習機能 »

このナビゲーションプログラミング機能を使用して、ナビゲーションデータプログラミングに関連する機密性パラメータを管理します。

マルチメディアシステムは、日々の行程やその時間を分析し、その結果をもとに目的地を提案するため、マルチメディアシステム起動時にお客様が目的地（時訳や職場など）を構成する必要はありません。

以下の設定にアクセスできます。

- 「ON」または「OFF」を押す方法で、「ナビゲーションプログラミングを有効化」できる設定。
- 「ON」または「OFF」を押す方法による「自動案内提案」の設定。
- « 記録消去 » 。

« 他のデバイスと共有した目的地 »

お使いの電話から行程を計画し、マルチメディアシステムと共有することができます。

車両を始動すると、マルチメディアシステムが「お使いのスマートフォンで

ナビゲーションの設定

計画された経路」である旨を通知します。

次の中から選択します。

- « スタート »;
- 「お気に入りに保存」。
- « 無視 »。

「ON」または「OFF」を押す方法で、目的地共有を許可／禁止できます。

« 時間制限道路の許可 »

この設定では、通行可能時間規制道路の利用について、「常に」、「通行可の際」または「決して」に設定できます。

« 時間の有料道路の許可 »

「ON」または「OFF」を押す方法で、経路上での有料道路利用を許可／禁止できます。

« 回避エリア »

「ON」または「OFF」を押す方法で、回避エリアを有効化／無効化できます。

« 未舗装道路を許可する »

「ON」または「OFF」を押す方法で、経路上での未舗装道路利用を許可／禁止できます。

「境界交差通知」

境界を越えた場合は、マルチメディアシステム通知を有効または無効にできます。

ポップアップメニュー

ポップアップメニュー 2 では、ナビゲーション設定を修正できます。



« マップ »

「マップ」タブ 3 では、次の要素に関する設定にアクセスできます。

- « マップのテーマ »;
- « 時間の表示 »;
- « トラフィック表示 »;
- « 標識認識 »;
- « 自動拡大 »;
- « マイカー »;
- « 交差点ビュー »;
- 「ランドマークを表示」。
- « 天気表示 »;
- « 地方情報 »。

« マップのテーマ »

このオプションを使うと、「オート」、「昼間」または「夜」の中から地図の色を選択できます。

« 時間の表示 »

この設定を使うと、「到着予定時刻」を表示するか、「目的地までの所要時間」を表示するかを選択できます。

« トラフィック表示 »

「ON」または「OFF」を押す方法で、交通情報表示を許可／禁止できます。

« 標識認識 »

このメニューから次の機能にアクセスできます。

- « 標識認識 »;
- « スピード超過警告 »;
- « リスク領域の表示 »;
- « リスクエリアサウンド警告 »。

「ON」または「OFF」を押す方法で、上記を有効化／無効化できます。

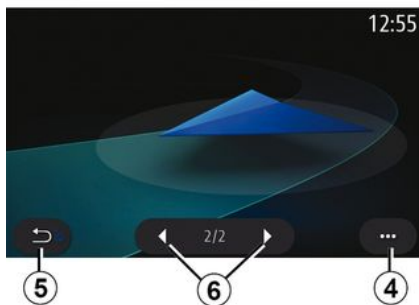
すべての設定を「ON」に切り替えるには、ポップアップメニュー 4 の「リセット」ボタンを押します。

« 自動拡大 »

「ON」または「OFF」を押す方法で、「自動拡大」を有効化／無効化できます。

ナビゲーションの設定

2



「マイカー」

左右の矢印 **6** を押し、目的のモデルを選択する方法で、車両のビジュアル表示を変更できます。

選択内容を確定するには、希望のモデルを選んだまま「戻る」矢印 **5** を押します。

「交差点ビュー」

「ON」または「OFF」を押す方法で、「ジャンクション表示」を有効化／無効化できます。

「ランドマークを表示」

以下に示す POI の地図上での表示を有効化／無効化できます。

- 「ガソリンスタンド」；
- 「パーキング」；
- 「レストラン」。

- 「住居／住宅」。
- 「旅行や旅に関する施設」。
- 「小売店」。
- 「病院」。
- ...

地図から POI を直接選択することができます。マルチメディアシステムはいくつかの選択肢を提案します。

- 「スタート」；
- 「通話」。

詳しくは、「目的地を入力」セクションの「POI」をご覧ください。

「天気の表示」

「ON」または「OFF」を押す方法で、お天気表示を有効化／無効化できます。

「地方情報」

表示されている国のリストから、フォースの速度制限、交通の方向、速度の単位などを調べることができます。

ポップアップメニュー

ポップアップメニュー **4** では、ナビゲーション設定をリセットできます。

ラジオを聞く

「ラジオ」メニュー

メインメニューから「ラジオ」を押します。ラジオ番組放送中の場合は、「ナビゲーション」または「電話」メニューの一部ページからゾーン **A** にあるショートカットを押す方法も使えます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



保存された局を選択したり、ステアリングコラムコントロールのボタンを使用して選択したモードに応じて、ラジオ局を周波数またはリストでスクロールしたりできます。

「ラジオ」画面



1. 今再生しているラジオ局のロゴ。
2. 今再生しているラジオ局名。テキスト情報（アーティスト、曲など）。
3. 希望する周波数の手動入力にアクセスする。
4. 交通情報の起動と局追跡機能の表示。
5. 「プリセット」で放送中の放送を保存します。
6. ポップアップメニューにアクセスします。
7. 次または前の局にアクセスする。
8. 次または前の周波数にアクセスする。
9. 周波数セクターバー。
10. 前の画面に戻ります。

11. 音源メニューにアクセスする。

注: 使用可能な情報は、選択された局またはラジオのバンドによって異なります。

「周波数」モード。

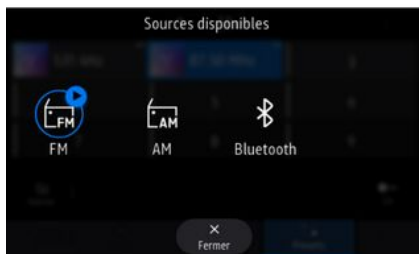


このモードを使用して、選択したラジオのバンドのラジオ局または周波数を選択します。周波数範囲のスキャンには、次の2つのオプションがあります:

- 周波数で検索: **8** ボタンを繰り返し押すか、セクターバー **9** にカーソルを直接移動する方法で周波数をスキャンできます。
- 放送局で検索: **8** ボタンを押す方法で、別の放送局まで進めるか戻すことができます。

ラジオを聞く

ラジオのバンドを選択する



マルチメディア画面上で「ソース」**11**を押す方法により、「FM」、「AM」または「DAB」（地上波デジタルラジオ）を選択します。

ステアリングホイールスイッチのボタンを使用して、ラジオのバンドを選択することもできます。

ラジオ局をプリセットとして保存する



この機能を使用して、現在再生中の局を保存します。

「周波数」モードから、ボタン**5**を押すか、番組放送中のラジオ放送局のロゴ**1**を長押しし、通知音が聞こえるまでいずれかの位置を長押しする方法で位置（ページ**12**上のいずれかの位置）を指定します。

ラジオ局を27局まで保存できます。

「リスト」モード。

このモードでは、アルファベット順に表示されるリストから簡単にラジオ局を検索できます。

リストをクリックして、すべての局をスクロールすることができます。停止した位置のラジオ局が再生されます。リストからラジオ局を選択して、直接聴くこともできます。

ラジオ局がRDSを使用しない場合や、車両が電波の届かない地域にいる場合、名前とロゴは画面に表示されません。リストの先頭には、その周波数のみが表示されます。

注: 使用可能な情報は、選択された局またはラジオのバンドによって異なります。

「プリセット」モード。



このモードでは、メモリされた局を呼び出します。

ラジオを聞く

詳しくは、このセクションの「ラジオの保存」項をご覧ください。

聴きたいラジオ局を選択するにはボタン **14** いずれか 1 つを押します。

ポップアップメニュー 6



どのモードでも、ポップアップメニュー **6** を使用して設定に移動することで、以下のラジオ機能を構成できます。

- «ラジオ設定»;
- 「サウンドイコライザー設定」。
- 「音響設定」。

詳しくは、「設定」セクションをご覧ください。

«ラジオ設定»

この調節で次の要素を有効または無効にできます:

- «AM»;
- «ラジオテキスト»;
- «地域»;
- «TA/I-Traffic»;
- 「ロゴ」。
- 「HDラジオ」。
- ...

«AM»

「ON」または「OFF」押す方法で、音源メニュー一覧 **10** における周波数表示 AM を有効化／無効化できます。

«ラジオテキスト»

(テキスト情報)

一部の FM ラジオ局は、番組に関連するテキスト情報（例えば曲名）を送信しています。これらの詳細を表示する場合は、この機能を有効にします。

注: この情報は、一部のラジオ局に限り表示できます。

«地域»

「FM」ラジオ局の周波数は、地域によって変更される事があります。この機能を有効にして、地域の変更に同じラジオ局を続けて聴取します。オーディオシステムは、中断することなく周波数の変更に従います。

地域モードが無効化されている状況で信号の強度が低下すると、ラジオは、聴取中の番組を引き続き聴取できるよう、新しい周波数帯に切り替えます。

注:

- 同一エリア内にある放送局であっても、番組やラジオ局名は異なる場合があります。
- またラジオ局の中には、地域限定の周波数帯で放送している局もあります。この場合:
- 「地域」が有効化されている状況であれば、システムは新地域の放送局への切り替えを行わず、通常とおり、当初の地域にある放送局間での切り替えを行います。
- 「地域」が無効化されている状況であれば、放送番組が異なる場合でもシステムは新地域の放送局への切り替えを行います。

«TA/I-Traffic»

(交通情報)

この機能を有効にすると、お使いのオーディオシステムが、一部の FM ラジオ局が送信している交通情報を自動的に受信することができます (国によって異なります)。

その後、交通情報を送信している局の周波数を選択する必要があります。別のオーディオソースが再生中の場合 (USB、Bluetooth®)、そのオーディオソースは交通情報の着信時に自動的に中断されます。

«同時放送»

国によっては、デジタル信号が失われた場合、この機能により、DAB局から

ラジオを聞く

同等のFM局への切り替えが行われます。

「FM／DAB 同時放送機能」が有効化されている場合、システムによる FM 地上波ラジオへの切り替えまでに数秒かかります。音量が変化する場合があります。

デジタル信号を受信すると、システムはDABに自動的に戻ります。

注: サイマル放送中は、放送局名の前に「FM>」と表示されます。

「DAB に優先」

国によって、この機能では、FM局（要求されたラジオ局もデジタルで利用可能な場合）を選択し、同等のDAB局に切り替えて音質を向上できます。

注: DAB の優先中は、放送局名の前に「DAB>」が表示されます。

「スライドショー」

国によっては、この機能では、いくつかのDABラジオ局を聴いているときに、ロゴの代わりに、プログラム、音楽、天気に関する情報を表示できます。

聴くデジタルラジオ局によっては、これらの要素に関する視覚的な情報を含む画像が送信される場合があります。

注: この情報は、一部のラジオ局に限り表示できます。

「サウンドイコライザー設定」。

この調節で次の要素を有効または無効にできます:

- « Natural » ;
- « ライブ » ;
- « クラブ » ;
- « ラウズ » .

注: イコライザーモードの一覧は機器によって異なる場合があります。

「音響設定」

このメニューで次の項目を設定できます:

- 「低音域強化」: この機能を使うと、低音域を大きくまたは小さくできます。
- 「低音域/中音域/高音域」: この機能を使うと、低音域、中音域または高音域を大きくまたは小さくできます。
- 「速度感応型音量調節」: この機能を有効化すると、オーディオシステムの音量が車速に応じて変化します。この機能については、感度を調整したり、無効化したりできます。
- ...

使用可能な設定の詳細については、「➔ 96」を参照してください。

音楽

「音楽」メニュー

メインメニューから「音楽」を押すか、他のメニューからゾーン A にあるショートカットを押します。

このメニューを使用して、外部ソース（USB、AUX など）から音楽を聴くことができます。システムに接続された入力ソースを選択して、次のリストからアクセスします：

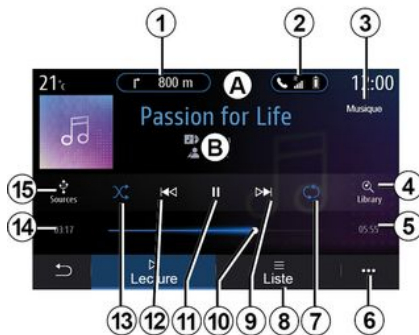
- 「USB1」（USB ポート）。
- 「USB2」（USB ポート）。
- « Bluetooth® »；
- 「AUX」（Jack ソケット）。

上記の音楽ソースは、装備レベルに応じて異なる場合があります。使用可能なソースのみがマルチメディア画面に表示され、選択できます。

注：

- 形式によっては、システムで認識されない場合もあります。
- USBドライブは、FAT32またはNTFS形式でフォーマットされ、最小8 GB、最大64 GBの容量が必要です。

「再生」モード



B. 現在再生中のオーディオトラックに関する情報（曲名、アーティスト名、アルバムタイトル、ソースから転送された場合のアルバムカバー）。

1. 「ナビゲーション」メニューへのショートカット。
2. 「電話」メニューへのショートカット。
3. 現在再生中のオーディオ音源の名前。
4. カテゴリ別に分類されたオーディオプレイリストへのショートカット。
5. 再生中のオーディオトラックの長さ。
6. ポップアップメニューにアクセスします。

7. トラックまたはプレイリストのリピート再生を有効または無効にします。

8. 現在の再生リストにアクセス

9. 短押し: 次の曲を再生します。

長押し: 早送りします。

10. 現在再生中のオーディオトラックのプログレスバー。

11. オーディオトラックの再生を一時停止／再開します。

12. 短押し: 再生中の曲の先頭に戻ります。

短く 2 回押す（最初の短押しから 3 秒以内に押す）: 前の曲を再生します。

長押し: 巻き戻しします。

13. オーディオトラックのランダム再生を有効または無効にします。

14. 現在のオーディオトラックの再生時間。

15. 音源にアクセスします。

音楽



「検索」メニューでは、カテゴリー（「プレイリスト」、「アーティスト」、「アルバム」、「ポッドキャスト」など）別プレイリストにアクセスできます。

注: 選択できるのは利用可能なソースのみです。利用できないソースは画面に表示されません。



ステアリングホイールスイッチのボタンを使用して、音楽を変更できます。

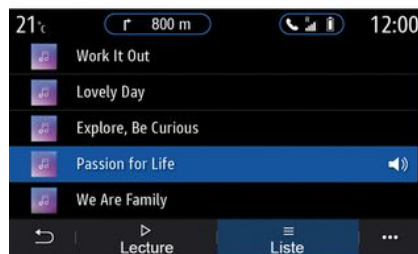
再生順をカテゴリー（「プレイリスト」、「アーティスト」、「アルバム」、「ポッドキャスト」など）別に並べ替えることができます。

再生中に次のことを実行できます：

- 現在のプレイリスト **8** にアクセスすること。
- **9** を押すか、現在の曲を早送りし続ける方法で次の曲に変更すること。
- **11** を押して一時停止すること。
- **12** を押すか、現在の曲を巻き戻しし続ける方法で前の曲に変更すること。
- スクロールバー **10** を表示して特定の音楽を選択すること。

注: 接続されている入力ソースによって、マルチメディア画面の表示は異なります。

「リスト」モード。



現在のプレイリストにアクセスするには、「リスト」ボタンを押します。

注：

- デフォルトではすべての曲が再生されます。
- 接続されている入力ソースとそのコンテンツによって、上記のプレイリストは異なります。

ポップアップメニュー 6

音響設定（低音、バランス、音量／速度など）にアクセスするには、ポップアップメニュー **6** から「オーディオ設定」を押します。



新しい USB フラッシュドライブを挿入した場合は、その画像がマルチメディアシステムに保存されます。USB フラッシュドライブの容量に応じて、マルチメディア画面をスタンバイ状態にすることができます。数秒間待ちます。USB ドライブのみ使用できます。該当国に手満たすべき要件を満たしている。

写真

「写真」メニュー

メインメニューから「アプリ」>「写真」タブの順に押します。

接続された入力ソースを選択します。

複数のソースが接続されている場合は、次のリストから入力ソースの1つを選択して写真にアクセスします。

- 「USB1」（USB ポート）。
- 「USB2」（USB ポート）。

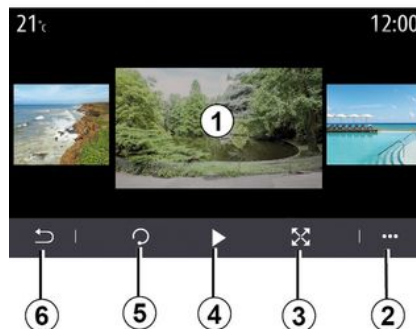
注：

- 形式によっては、システムで認識されない場合があります。
- USBドライブは、FAT32またはNTFS形式でフォーマットされ、最小8 GB、最大64 GBの容量が必要です。



写真の表示は、車両が停止している場合のみ可能です。

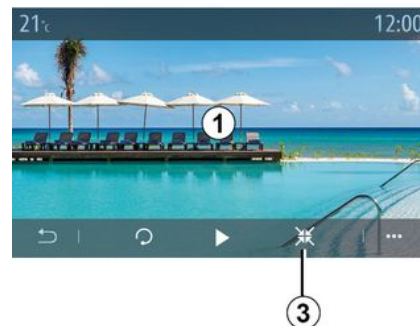
「再生」



スライドショー内のすべての写真を表示するか、1つの写真を表示するかを選択できます。

写真の表示中に次の操作を実行できます：

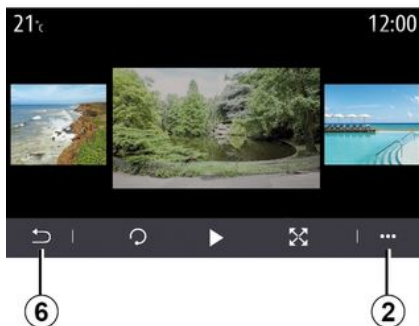
- 画像プレビュー領域 **1** をすばやくスワイプする方法で前後の写真に変更すること。
- ボタン **3** を押すか、画像プレビュー領域 **1** を2回クリックする方法で、（調整後）通常モードからフルスクリーンモードに切り替えること。



- ボタン **5** を押す方法で写真を回転させること。
- ボタン **4** ボタンを押す方法でスライドショーを再生すること。
- **6** を押す方法で前画面に戻ること。

写真

「ポップアップメニュー」



写真表示画面では、**2**を押すことで次のことを行えます。

- 写真の詳細情報（タイトル、ファイルの種類、撮影日、ファイルパスなど）を取得すること。
- ユーザープロフィールの写真や壁紙を設定すること。
- 設定へのアクセス

「情報」

このメニューから、写真の情報（タイトル、タイプ、アクセスパス、サイズ、解像度）にアクセスできます。

注：互換性のある写真形式の詳細については、正規ディーラーまでお問い合わせください。

「プロフィールを選択」

このメニューから、プロフィールイメージを変更できます。変更を保存するには、「OK」を押して確定します。

« 設定 »

このメニューから、スライドショーの設定にアクセスできます。

- スライドショーでそれぞれの写真を表示する時間を変更する、
- スライドショーの各写真間のアニメーション効果を有効または無効にする。

注：スライドショーのアニメーション効果は、デフォルトで有効になっています。

i 新しいUSBフラッシュドライブを挿入した場合は、その画像がマルチメディアシステムに保存されます。USBフラッシュドライブの容量に応じて、マルチメディア画面をスタンバイ状態にすることができます。数秒間待ちます。国の要件に適合するUSBフラッシュドライブのみを使用してください。

ビデオ

「動画」メニュー

メインメニューから「アプリ」>「動画」メニューの順に押します。

接続された入力ソースを選択します。

複数のソースが接続されている場合は、次のリストから入力ソースの1つを選択してビデオにアクセスします。

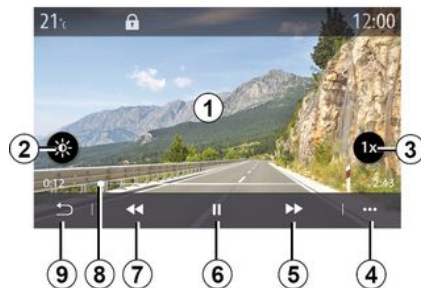
- 「USB1」（USB ポート）。
- 「USB2」（USB ポート）。

注：

- 形式によっては、システムで認識されない場合があります。
- USBドライブは、FAT32またはNTFS形式でフォーマットされ、最小8 GB、最大64 GBの容量が必要です。

i ビデオの再生は、車両が停止している場合のみ可能です。走行中は、現在のビデオのサウンドトラックだけがアクティブのままです。

« 動画 »



ビデオの再生中に次のことを実行できます：

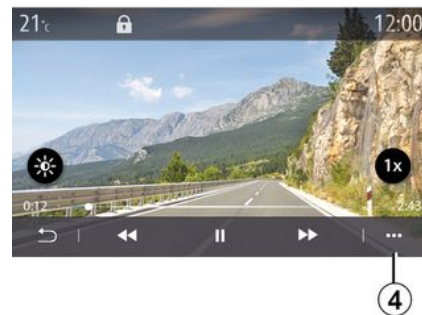
- ボタン **2** を押す方法で輝度を調整すること。
- ボタン **3** を押す方法で再生速度を調整すること。
- ポップアップメニュー **4** にアクセスすること。
- 再生時間が3秒未満の状況で **7** を押す方法により前のビデオに戻る。3秒後、ビデオは最初から再開されます。
- スクロールバー **8** を使用すること。
- **6** を押して一時停止すること。
- **5** を押して次のビデオに変更すること。
- 映像プレビューエリア **1** を2回クリックする方法でビデオをフルスクリーンモードに切り替えること。

- **9** 上を押す方法で前画面に戻すこと。

注：

- 一部の機能はフルスクリーンモードでのみ使用できます。
- フルスクリーンモードでビデオを再生すると、再生コントロールは10秒後に自動的に消えます。

ポップアップメニュー



ポップアップメニュー **4** を使用すると次のことを行えます。

- ビデオの詳細情報（タイトル、ファイルの種類、撮影日、ファイルパスなど）を取得すること。
- 設定へのアクセス

« 情報 »

ビデオ

このメニューから、ビデオに関する情報（タイトル、タイプ、時間、解像度）にアクセスできます。

注：互換性のあるビデオ形式の詳細については、正規ディーラーまでお問い合わせください。

« 設定 »

「設定」メニューでは、表示の種類を次の中から選択できます。

- （調整済み）「レギュラー」。
- 「フルスクリーン」。



新しい USB フラッシュドライブを挿入した場合は、その画像がマルチメディアシステムに保存されます。USB フラッシュドライブの容量に応じて、マルチメディア画面をスタンバイ状態にすることができます。数秒間待ちます。国の要件に適合する USB フラッシュドライブのみを使用してください。

電話のペアリングや接続

電話のペアリング、ペアリング解除

「電話」メニュー

ホーム画面から「電話」を押します。
(電話が既に接続されており)「電話」メニューが表示されている場合は、ショートカット **A** を押します。この機能により、お使いの電話がマルチメディアシステムとペアリングされます。

注: マルチメディアシステムに電話が切断されていない場合、いくつかのメニューは無効になります。

電話をペアリングすると、マルチメディアシステムが電話機能にアクセスできるようになります。お客様の連絡先または個人データのコピーは、マルチメディアシステムに保存されません。

「dual SIM」装備電話はマルチメディアシステムによる管理の対象外です。電話の設定を調整して、マルチメディアシステムを正しくペアリングできるようにします。



「ペアリング、接続」画面

1. 接続デバイスの一覧
2. 電話音声認識
3. Bluetooth® 接続の有効化 / 無効化
4. 新しいデバイスの追加
5. 「ホットスポット」機能の有効化 / 無効化。
6. 「音楽」機能の有効化 / 無効化。
7. 「電話」機能の有効化 / 無効化。
8. ポップアップメニュー。
9. 「データ」のメニューにアクセスする
10. 「WIFI」メニューへのアクセス (使用可否は車両装備に応じて変化します)。

11. 「デバイス」のメニューにアクセスする

12. 前の画面に戻る

13. 「Bluetooth®」のメニューにアクセスする

注: ホットスポット 5 の使用可否は、車両装備に応じて変化し、ホットスポットは、互換モデルの場合に限り有効化できます。

 互換性のある電話のリストの詳細については、指定の代理店に問い合わせください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

電話のペアリング

ハンズフリーシステムを使用するには、携帯電話Bluetooth®をマルチメディアシステムとペアリングします。電話のBluetooth®がオンになっていることを確認し、ステータスを「認識」に設定します。

電話の認識ステータスの有効化の詳細については、電話の取扱説明書を参照してください。

電話のペアリングや接続

機種によって、またシステムから求められた場合は、電話に Bluetooth® コードを入力してマルチメディアシステムとペアリングするか、ペアリング要求を確認します。

連絡先、発信ログ、音楽の共有の許可を、電話が求めてくる場合があります。マルチメディアシステムにこの情報にアクセスする場合は、共有を受け入れます。



互換性のある電話のリストの詳細については、指定の代理店に問い合わせください。



マルチメディアシステムのメインメニューで、次の手順実行します：

- 「電話」を押します。電話のペアリングを求めるメッセージが画面に表示されます。
- 「OK」を押します。マルチメディアシステムが、Bluetooth® が有効化されており認識できる近くの電話を検索します。
- リストで電話を選択します。



マルチメディアシステム画面と電話に、表示コードを用いてペアリング要求に同意するよう求めるメッセージが表示されます。

注：マルチメディアシステムから電話の連絡先と通話履歴、SMS にアクセスするには、同期を承認する必要があります。

- ペアリングする電話機能の選択
 - 「電話」機能: 電話帳へのアクセス、発信や受信、通話記録へのアクセスなどを行えます。
 - 「音楽」機能: 音楽にアクセスできます。
 - 「ホットスポット」機能: インターネットにアクセスできます。
- 「OK」を押して確定します。

注：有効化されると、その証として機能アイコンがハイライト表示されます。

お使いの電話がマルチメディアシステムとペアリングされました。



「ホットスポット」機能を使う場合、その作動に必要なモバイルデータの転送により、契約の電話料金プランに含まれない追加の費用が生じることがあります。

別の電話のペアリング

新しい電話をマルチメディアシステムにペアリングするには、次の手順を実行します：

- お使いの電話の Bluetooth® 接続を有効化し、ステータスを「ペアリング可能」に設定します。
- メインメニューから「電話」> ポップアップメニュー> 「Bluetooth® バイ

電話のペアリングや接続

ス一覧」>「新しいデバイスの追加」の順に選択します。

- 接続する電話機能の選択
- 「OK」を押して確定します。

注:有効化されると、その証として機能アイコンがハイライト表示されます。

お使いの電話がマルチメディアシステムとペアリングされました。

6つの電話をペアリングすることができます。

電話のペアリング解除

マルチメディアシステムから1つまたは複数の電話を解除するには:

- メインメニューから「電話」>ポップアップメニュー>「Bluetoothデバイス一覧」の順に選択し、ポップアップメニュー **8** から、ペアリングする電話を選択します。
- メインメニューから「設定」>「システム」>「端末を管理」の順に選択し、ポップアップメニュー **8** から、ペアリング解除する電話を選択します。

ポップアップメニュー 8

ポップアップメニュー **8** では次のことを行えます。

- ペアリングされている1つまたは複数のデバイスを削除する。
- ペアリングされたすべてのデバイスを削除する。

電話の接続、取り外し

電話の接続

電話をペアリングすると、ハンズフリー電話システム➔**59**に接続できます。すべての機能にアクセスするには、電話をハンズフリーシステムに接続する必要があります。

注:マルチメディアシステムに電話が切断されていない場合、いくつかのメニューは無効になります。

電話を接続すると、マルチメディアシステムが電話機能にアクセスできるようになります。お客様の連絡先または個人データのコピーは、マルチメディアシステムに保存されません。

「dual SIM」装備電話はマルチメディアシステムによる管理の対象外です。電話の設定を調整して、マルチメディアシステムを正しく接続できるようにします。

手動接続

「電話」メニューからポップアップメニューにアクセスし、「Bluetoothデバイス一覧」を選択してペアリング済み電話の一覧を表示します。

接続したい電話と機能を選択し、電話のBluetooth®が有効化されているか確認して、「ペアリング可能」に設定します。

注:電話を接続するときに通話中の場合は、車両のスピーカーに通話が自動的に転送されます。



互換性のある電話のリストの詳細については、指定の代理店に問い合わせください。

自動接続

マルチメディアシステムが起動すると、ハンズフリー電話システムが、近くでBluetooth®が作動中のペアリングされている電話を検索します。システムが、最後に接続された電話のデータ（ディレクトリ、音楽など）を自動的にダウンロードします。

注:マルチメディアシステムに電話が自動接続される際のデータ（電話帳、音楽、連絡先など）のダウンロードは、お使いの電話とマルチメディアシステムのペアリング前にデータ共有が許可されている場合に限り実行されます。詳しくは➔**59**をご覧ください。

電話のペアリングや接続

機能を接続します



マルチメディアシステムを介してお使いの電話の音楽、電話帳およびインターネット接続に直接アクセスするには、「電話」メニュー>ポップアップメニュー>「Bluetooth®デバイス一覧 Bluetooth®」の順に選択しデータ共有を許可する必要があります。

接続されている電話のリストが表示されます。

候補一覧からお使いの電話を選択し、接続する電話の機能を選択します。

- « 電話 » 1 ;
- « 音楽 » 2 ;
- 「ホットスポット」 3。

注：

- ホットスポット 3 の使用可否は、車両装備に応じて変化し、ホットスポットは、互換モデルの場合に限り有効化できます。
- 作動すると、サービスアイコンが強調表示されます。
- 自動データ転送が可能な電話もあります。
- 一部の電話では、少なくとも1つの音楽ファイルが含まれている場合に限り「音楽」サービスを有効化できません。

接続した電話を充電する

「電話」メニューからポップアップメニュー 4 > 「Bluetooth®デバイス一覧」の順に選択します。

- 現在使用中の電話から切断する機能の選択を解除します。
- 既にペアリングされていて、デバイスリストにある別の電話に接続する機能を選択します。

「設定」メニューから、「システム」メニュー>「デバイスマネージャー」の順にアクセスし、接続する電話の機能を選択します。

注: 接続した電話を充電するには、最初に複数の電話をペアリングする必要があります。

2 台の電話に接続中

該当する電話を選択する方法で、2 台の電話から「電話」機能 1 に同時接続できます。

2 番目の「電話」機能 1 を有効化すると、マルチメディアシステムが、それを 2 台目の電話として追加するかどうか尋ねます。

2 台目の電話機を追加した場合は、と指定された電話のすべての機能にアクセスするオプションと、同時に両方の電話で着信コールを受信するオプションがあります。

電話の切断

「電話」ポップアップメニューから「Bluetooth®デバイス一覧」を選択し、次のように操作します。

- 現在使用中の電話から切断する機能の選択を解除します。
- 既にペアリングされていて、デバイスリストにある別の電話に接続する機能を選択します。

アイコンがオフになるとすぐに、電話機能がマルチメディアシステムから切断されます。

「設定」メニューから「システム」メニュー>「デバイスマネージャー」の順にアクセスし、切断する電話の機能を選択します。

注: 電話を取り外す時に通話中の場合、通話は自動的にお使いの電話機に転送されます。

通話管理

電話をかける

「電話」メニュー

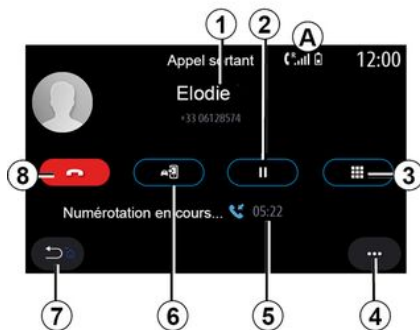
メインメニューから「電話」を押します。

注：

－ 大半のメニューでは、ゾーンAエリアを押すことで「電話」メニューに直接アクセスできます。

－ 電話をかけるには、電話をマルチメディアシステムに接続する必要があります。詳しくは➔61をご覧ください。

「通話中」画面



1. 連絡先の名前または電話番号。
2. 現在の通話を保留にする。

3. デジタルキーパッドにアクセスして番号をダイヤルする。

4. ポップアップメニュー。

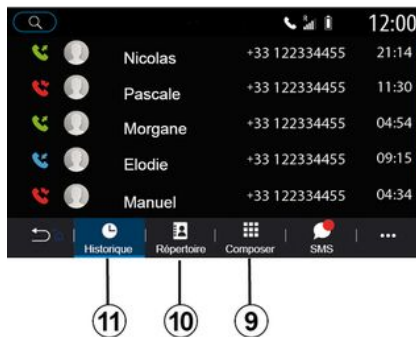
5. 現在の通話時間。

6. 通話を電話機に転送する。

7. 前のメニューに戻る。

8. 電話を切る。

電話をかける



次を選択して電話をかけることができます。

- － 「履歴」メニュー 11 から取得できる通話記録内の電話番号。
- － 「連絡先」メニュー 10 から取得できる電話帳内の連絡先。

－ 「ダイヤル」メニュー 9 から使用できるデジタルキーパッドのボタン。

電話を受ける



着信すると「着信」画面が表示され、次の情報が表示されます。

- － 電話帳に登録されている氏名（氏名がお気に入りまたは電話帳に登録されている場合）
- － 通話者の電話番号（名前が電話帳に存在しない場合）、
- － 「番号非通知電話」（番号を表示できない場合）

「応答」

発信するには「応答」ボタン 16 を押します。通話を終了するには、「通話を終了」ボタン 12 を押します。

通話管理

着信「拒否」

着信を拒否するには、「拒否」ボタン **12** を長押しします。発信者はボイスメールにリダイレクトされます。

通話「保留」

「通話を保留」ボタン **14** を押しします。マルチメディアシステムがハングアップし、自動的に着信を保留にします。合成メッセージにより、発信者に待機するよう求めます。

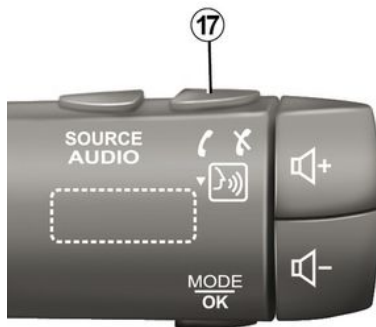
電話を転送する

車両から電話に通話を転送するには「転送」ボタン **13** を押しします。

注: 通話の転送中に、マルチメディアシステムから電話が切断される場合があります。

数字キーパッド

数字キーパッドにアクセスするには「キーパッド」ボタン **15** を押しします。



ステアリングコラムコントロール**17**を直接押して、応答したり、通話を終了できます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

通話中



通話中に以下ができます：

- ステアリングコラムのコントロールボタンまたはマルチメディア画面の音量ボタンで音量を調整する。
- 「通話を終了」**8**を押す、または車両のステアリングコラムコントロールのボタン**17**を押して通話を終了する。
- ボタン **14** を押して通話を保留にする。保留中の通話を再開するには、ボタン **14** をもう一度押しします。
- 「電話に転送」ボタン **13** を押して、接続されている電話に通話を転送する。
- 2番目の電話に応答したり、**18**を押して2つの通話を切り替えたりすることができます。

通話管理

注: 2 番目の着信に応答すると、最初の通話は自動的に保留になります。

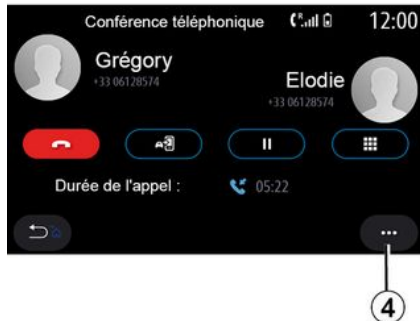
– ボタン **15** を押して、数値キーパッドを表示する。

– **19** を押して、前のメニューや他の機能に戻ることに。

通話が終了すると、マルチメディアシステムで通話者に電話をかけることができます。

注: 通話中に 2 回目の通話を受信できますが、2 回目の通話はできません。

電話会議



通話中に、通話に参加するために待機した発信者を招待するオプションがあります。

電話会議を有効化するには、ポップアップメニュー **4** から「電話会議に参加」ボタンを押します。

電話帳

「連絡先」メニュー

マルチメディアシステムを介して電話帳にアクセスするには、メインメニューから「電話」を押し（大半のメニューではショートカット **A** を押す方法も可）、「連絡先」を選択します。

「dual SIM」装備電話はマルチメディアシステムによる管理の対象外です。電話を設定して、マルチメディアシステムが電話の正しいディレクトリにアクセスできるようにします。



「連絡先」モード

1. 名前または番号で連絡先を検索します。

2. アルファベット順に連絡先を検索します。

3. 電話の接続

4. ポップアップメニュー。

5. 前のメニューに戻る。

6. 接続されている電話の連絡先リスト。

7. 連絡先は電話のお気に入り保存されます。

電話メモリをダウンロードする

デフォルトでは、電話の接続の際に、ハンズフリー接続が作動している場合は、連絡先が自動的に同期されます
→ **61**。

注: 電話帳とマルチメディアシステム経由でアクセスするには、電話のデータの共有を許可する必要があります
→ **59**。

電話帳を更新する

Bluetooth® によって、マルチメディアシステムの電話帳の連絡先を手動で更新できます。ポップアップメニュー **4** > 「リストの更新」の順に押します。

通話管理

連絡先を検索する



名前や電話番号を入力して連絡先を検索することができます。

虫眼鏡 **1** を押します。目的の連絡先の番号または文字のいくつかを入力します。

「ABC」 **2** を押します。1文字だけを選択します。電話帳には、選択した文字で始まる連絡先のリストが表示されます。

電話帳の選択

2つの電話機が同時にマルチメディアシステムに接続されている場合は、表示される連絡先リストを選択できます。

該当電話をバー **3** から選択します。

機密性

各電話機の連絡先のリストは、ハンズフリーフォンシステムのメモリに記憶されません。

機密保持のため、ダウンロードされた各連絡先は、対応する電話機が接続された場合のみ表示されます。

発信ログ

「発信ログ」メニュー

発信ログにアクセスする

すべての通話履歴にアクセスするには、メインメニューから「電話」を押し（大半のメニューではショートカット **A** を押す方法も可）、「履歴」を選択します。

通話ログが新しい順に表示されます。



「通話中」モード

1. 連絡先名
2. 連絡先番号
3. 通話時間/日付
4. ポップアップメニュー。
5. 前のメニューに戻る。
6. 着信
7. 不在着信
8. 発信

注: マルチメディア画面によっては表示されない情報もあります。

発信ログを閲覧する

通話のリストをスクロールするには、上下にスワイプします。

通話管理

発信ログを更新する

4 を押し「リストの更新」を選択します。メッセージが表示されて、データが更新されたことが通知されます。

通話ログから電話をかける

電話する連絡先または番号のいずれかを押します。通話が自動的に開始されます。

電話番号を押す

「電話番号を押す」メニュー

番号をダイヤルして電話をかける

キーパッドにアクセスして番号をダイヤルするには、メインメニューから「電話」を押し（大半のメニューではショートカット A を押す方法も可）、「ダイヤル」を選択します。

電話番号を押す

発信するには、キーパッド 1 を使用して発信先電話番号をダイヤルし、「発信」を押します。

最初の入力が行われた瞬間から、マルチメディアシステムは、同じ一連の番号を持つ連絡先のリストを提案します。

発信先を選択し、「電話」ボタン 5 を押して発信します。



「ダイヤル」モード

1. デジタルキーパッド
2. ダイヤルした電話番号
3. 連絡先の提案
4. ポップアップメニュー。
5. 通話
6. 前のメニューに戻る。

音声制御を使用して番号を入力する

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、番号を指示することができます。それには、音声制御ボタンを押して、メイン音声制御メニューを表示します。ビープ音の後で、

– 「通話」と発声し、発信先電話番号を伝えます。

– または「通話」に続いて発信先の名称を発声します。

マルチメディアシステムは、提供された番号を表示し、それを呼び始めます。

注: 連絡先に複数の電話番号（仕事、家庭、携帯電話など）がある場合は、選択することができます。たとえば、「通話」 - Stéphane - 自宅など。

SMS

「SMS」メニュー

マルチメディアシステムを介してお使いの電話の「SMS」にアクセスするには、メインメニューから「電話」を押し（大半のメニューではショートカット **A** を押す方法も可）、「SMS」を選択します。

電話をハンズフリーシステムに接続する必要があります。また、すべての機能を使用するには、（モデルに応じて電話機の設定を使用して）メッセージの転送を承認する必要があります。

注: マルチメディアシステムを経由して読むことができるのは SMS だけです。その他のタイプのメッセージは読むことができません。



電話の仕様とモデルによっては、特定の機能が動作しない場合があります。



「SMS」画面

1. メッセージステータス既読 / 未読
2. メッセージの送信者の名前 / 電話番号
3. メッセージの開始
4. 受信した日付。
5. ポップアップメニュー。
6. 前のページにに戻る。

SMS の受信



マルチメディアシステムは、開いているメニューに表示されている **B** の警告メッセージにより、新しい SMS が受信されたことを通知します。

デフォルトでは、ペアリングと電話の接続後に新しいメッセージを受信すると、マルチメディアシステムで読むことができます。

注: ペアリング後、電話機がマルチメディアシステムに接続されている間に受信したメッセージのみを読むことができます。

SMS

SMS の読み取り



走行中は、「再生」ボタン **7** を押すことで、マルチメディアシステムの合成音声を利用して SMS を読んだり、「発信」ボタン **10** を押して連絡先との通話に応答したりできます。

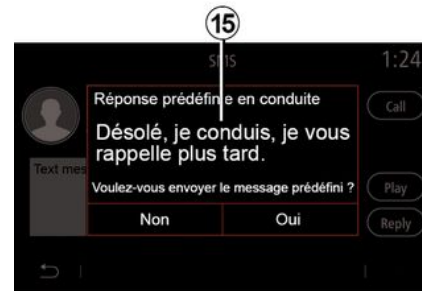
マルチメディアシステムの「メッセージ」**8** を押して SMS を開く操作や、「応答」**9** を押して SMS に応答する操作、また SMS の詳細を表示する操作は、停車中に限り行えます。

SMS の詳細



電話番号がメモリまたは電話帳に保存されている場合は、「発信」ボタン **11** を押すことで、その相絡先に直接発信できます。

「再生」ボタン **12** を押すと、ゾーン **14** にある SMS メッセージをマルチメディアシステムの合成音声に読み上げさせることができ、ボタン **13** を押すと応答できます。



注: 走行中は、マルチメディアシステムがドライバーに対し、プリセットメッセージ **15** の送信を提案します。

電話の設定

「設定」メニュー

電話をシステムに接続した状態で、メインメニューから「電話」を押し（大半のメニューではショートカット **A** を押す方法も可）ます。

ポップアップメニューで「設定」を選択すると、次の設定にアクセスできます。

- « ボイスメールの設定 »;
- « 自動電話帳のダウンロード » (« オン/オフ »);
- « 名前順並べ替え/名前 »;
- « 自動保留 » (« オン/オフ »);
- « 電話着信音 » (« オン/オフ »);
- « SMS » (« オン/オフ »);
- « プライベートモード » (« オン/オフ »);
- « スマートフォンヘルプ ».



« ボイスメールの設定 »

このオプションを使用して、留守番電話システムの設定を構成します。

留守番電話が未設定の場合は、設定画面、キーパッド **B**、「はい」を使用し留守番電話番号を選択します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「電話着信音」

メインメニューから「設定」>「音」の順に押すと、「電話」タブから次の要素の音量を調整できます。

- 「電話着信音」。
- « ハズフリー電話 ».

詳しくは ➔ 96 をご覧ください。

« SMS »

SMS を ON または OFF にできます。

« プライベートモード »

このオプションを使用して、マルチメディア画面に何も表示せずに着信コールまたはメッセージを知らせる、控えめな慎重な音声信号を有効にします。

« スマートフォンヘルプ »

電話の設定

このオプションを使用して、マルチメディアシステムから電話の音声認識システムを作動させる方法のチュートリアルにアクセスできます。



電話の仕様とモデルによっては、特定の機能が動作しない場合があります。

ワイヤレスチャージャー

誘導充電エリア

はじめに

ケーブルなしで電話を充電するには誘導充電ゾーン **1** を使用します。

車両が装備されている場合、充電エリアは（車両によって異なります）示されます。

– 関連する記号と

– 電話が専用エリアに配置されている限り、充電ステータスは画面に自動的に表示されます。

位置は車両によって異なる場合があります。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。



注：

- 最適な充電結果を得るには、充電する前に電話機から保護ケースを取り外すことがおすすめです。
- 最適な充電のため、電話の表面全体を充電マットの表面と合わせてください。

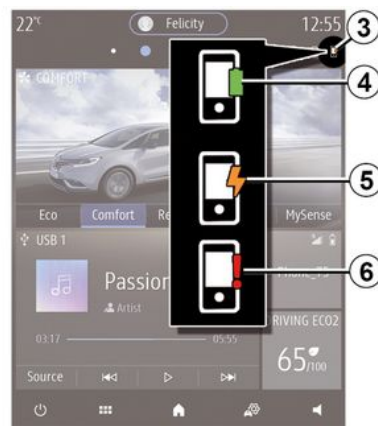
充電の手順

お使いの電話 **2** を誘導充電ゾーン **1** 内に置きます。充電が自動的に開始され、充電の進行状況 **3** が画面に表示されます。

次の場合には電話の充電 **2** が中断されます。

- 誘導充電ゾーン **1** 内で障害物が検出された場合。
- 誘導充電ゾーン **1** が過熱している場合。温度が下がると、電話の充電手順 **2** はすぐに再開されます。

充電の進行状況



マルチメディアシステムが、お使いの電話 **2** の充電状況 **3** を通知します

- 充電完了 **4**
- 充電中 **5**
- 充電エリアに電話機あり／電話機過熱／充電手順中断 **6**

注: 電話 **2** の充電手順が中断されると、マルチメディアシステムが通知します。

ワイヤレスチャージャー

① 電話の充電中は、誘導充電ゾーン **1** に何も（USB ドライブ、SD カード、クレジットカード、始動カード、宝石類、キー、コインなど）置かないでください。充電の際には、磁気カードやクレジットカード類をすべて電話ケースから取り出した後に、非接触充電エリア **1** 上に電話を置いてください。

① 誘導充電ゾーン **1** 内に物を置くと過熱する恐れがあります。この目的のために用意されているエリアに置くように求めるメッセージが表示されます（収納ボックス、サンバイザー収納ボックスなど）。

はじめにAndroid Auto™

「Android Auto™」は、マルチメディアシステムの画面でスマートフォンを複製できるアプリケーションです。

注：

- 「Android Auto™」アプリケーションは、スマートフォンが車両のUSBポートに接続されているか、Bluetooth®でワイヤレス接続されている、システムへの自動WIFI接続が可能な場合にのみ機能します。
- アプリケーションが正常に動作するには、使用するUSBケーブルがスマートフォンのメーカーによって認証されたもので、1.5メートル以内の長さである必要があります。
- WIFIでアプリケーションが正しく動作するには、スマートフォンをマルチメディアシステムとペアリングする必要があります。

詳しくは ➡ 59 をご覧ください。

初めての使用

「Android Auto™」アプリケーションを、お使いのスマートフォン用アプリケーションのダウンロードプラットフォームからダウンロードし、インストールします。

接続WIFIを開始するには、お使いのマルチメディアシステムのUSBポートにお使いのスマートフォンを接続するか、Bluetooth®経由で接続します。

アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。



アプリケーションは、マルチメディアシステム上で起動され、ゾーン A から確認できるはずです。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。

はじめにCarPlay™

「CarPlay™」は、お使いのスマートフォンにプレインストールされているサービスで、マルチメディアシステムの画面からスマートフォンの一部アプリを使用することを可能にします。

注：

– 「CarPlay™」サービスは、SIRI サービスが有効で、スマートフォンが車両のUSBポートに接続されている場合、またはBluetooth®を使用してWIFIによるシステムへの無線による自動接続を有効にしている場合にのみ機能します。

– アプリケーションが正常に動作するには、使用するUSBケーブルがスマートフォンのメーカーによって認証されたもので、1.5メートル以内の長さである必要があります。

– WIFIでアプリケーションが正しく動作するには、スマートフォンをマルチメディアシステムとペアリングする必要があります。

詳しくは、「電話のペアリング、ペアリング解除」セクションをご覧ください。

初めての使用

マルチメディアシステムのUSBポートにスマートフォンを接続するか、Bluetooth®経由で接続してWIFI接続を起動します。

マルチメディアシステムは、次のことを提案します。

- 接続とデータ共有を許可する
- デバイスの設定を記憶する。

アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。

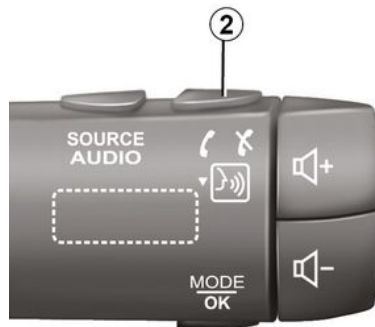
ANDROID AUTO™, CARPLAY™



機能は、マルチメディアシステム上で起動され、ゾーン A から確認できるはずです。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。

音声認識



「Android Auto™」アプリまたは「CarPlay™」機能をお使いのマルチメディアシステムと連携させ、車内の音声認識ボタン 2 を次のように使用すると、音声コマンドによりスマートフォンのいくつかの機能を制御できます。

- 短押し: マルチメディアシステムの音声認識を有効化／無効化できます。
- 長押し: 電話がマルチメディアシステムに接続されている場合に限り、電話の音声認識機能を有効化／無効化できます。

注: 「Android Auto™」または「CarPlay™」を使用している場合は、スマートフォンのナビゲーション機能および音楽アプリケーションを利用できます。

これらのアプリケーションは、すでに実行しているマルチメディアシステムに統合された同様のアプリケーションに代わるものです。

次の 1 つのナビゲーションのみを使用できます。

- « Android Auto™ »;
- « CarPlay™ »;
- または、マルチメディアシステムに統合されています。

注: マルチメディアシステムの機能の中には、「Android Auto™」アプリまたは「CarPlay™」サービスの使用中もバックグラウンドで実行され続けるものがあります。具体例を挙げると、マルチメディアシステムでのラジオ再生中に「Android Auto™」または「CarPlay™」を始動してスマートフォンでナビゲーションを使用しても、ラジオの受信は継続されます。

ANDROID AUTO™ , CARPLAY™

マルチメディアインターフェイスに復帰するには



ⓘ 「Android Auto™」アプリ
または「CarPlay™」サービ
スの使用時に、機能に必要な
モバイルデータの転送により、
この操作によって電話サブスクリ
プションに含まれない追加コスト
が発生することがあります。

マルチメディアシステムのインターフェイスに戻するには、マルチメディアシステム画面上の 3 ボタンを押します。

ⓘ 「Android Auto™」アプリ
や「CarPlay™」サービスの
機能の使用可否は、お使い
の電話のブランドやモデルに応じ
て変動します。詳しくは、製造元
の Web サイトを参照してくださ
い。

アプリケーション管理

「アプリ」メニュー

次の要素にアクセスするには、メイン画面から「アプリ」または「アプリ」を押します。

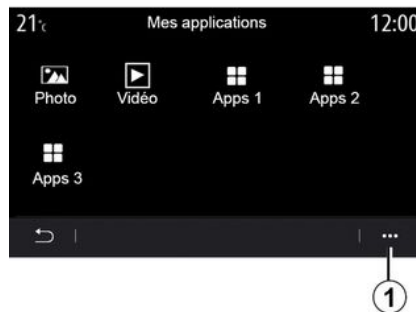
- お使いのナビゲーションシステムにインストールされているアプリケーション
- « 写真 »;
- « 動画 ».

注: 一部のサービスは試用期間中無料で利用できます。車両から、または <https://renault-connect.renault.com> ウェブサイトでサブスクリプションをオンラインで延長することができます。

注:

- トライアル期間中に、いくつかのサービスに無料でアクセスできます。車両またはオンラインからサブスクリプションを延長することができます。
- 一部のアプリケーションは、システムが接続されたサービスに接続されている場合にのみメニューに表示されます。

ポップアップメニュー



ポップアップメニュー **1** では次のことを行えます。

- ドラッグアンドドロップによりアプリケーションを整理すること。
- 「X」削除ボタンを押す方法でアプリを削除すること。削除できないアプリには削除ボタンが表示されません。
- 通知を有効にする
- 「アプリマネージャー」にアクセスすること。



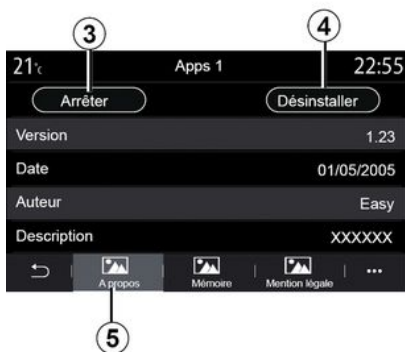
「アプリケーションマネージャ」

お使いのマルチメディアシステム上で作動中のアプリを表示 **2** するには、「アプリマネージャー」メニューを使用します。

注意:

- 「写真」および「動画」アプリは「アプリマネージャー」で管理できません。
- 実行中のアプリケーションは、マルチメディアシステムがオフになるとすぐに停止します。
- アプリケーションの数はシステムのストレージスペースに応じて制限されます。

アプリケーション管理



いずれかのアプリ 2 を選択します。
「について」タブ 5 では、アプリに関する情報（バージョン、有効性または作成日、タイトルなど）にアクセスできます。

次のようなことができます：

- 「アプリを停止」 3 すること。
- 「アプリケーションをアンインストール」 4 すること。



「メモリ」タブ 7 では次の情報にアクセスできます。

- アプリケーションの保存サイズ
 - アプリケーションが取り扱っているデータ（音楽、写真など）のデータ容量。
 - アプリケーションの合計保存サイズ
- ポップアップメニュー 6 では、アプリケーションデータを消去できます。



「法的通知」タブ 8 では、許可に関する情報（存在する場合）にアクセスできます。

サービスの起動

サービスの起動

車両で接続されているサービス（リアルタイムの交通情報、POI オンラインの検索、スマートフォンからの車両の遠隔制御など）を作動させるには、まずそれらを起動する必要があります。サービスを起動すると、システムと地図の自動更新も可能になります。詳しくは「システムや地図の更新」セクションをご覧ください。

注意：

- お客様への納車から一定期間は、サービスを無料で有効化できます。
- サービスの起動は、車両が販売されている国によって異なります。



製造元は、お客様の個人データが完全なセキュリティで確実に処理されるよう、必要な予防策を講じます。



接続サービスがまだ有効化されていない場合、マルチメディアシステムは、「接続」を押してサーバーに有効化リクエストを送信し、「有効にする」**2**を押してリクエストを確定することを提案します。

詳しくは、「詳細」ボタン **1** を押しご確認ください。

注：サービスの有効化は1回だけ必要なため、サービスの有効化にかかる時間（最大 72 時間）は「接続」制御を使用できません。

データの収集



サービスが機能するために、車両は車両の位置とその動作状況に関するデータを収集します。

これらのデータは、パートナーおよびサービスプロバイダと共有することができます。

これらのデータは個人的な性格を持っています。

マルチメディアシステムは、データ収集をアクティブ化することを提案します。有効化するには「すべて受け入れる」**3** を押し、無効化するには「すべて拒否」**4** を押します。

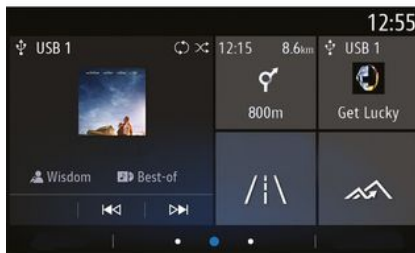
サービスの起動



サービスのアクティブ化リクエストが検証されると、マルチメディアシステムを起動すると、データ収集のアクティブ化または非アクティブ化を求められます。

有効化するには「ON」を選択し、データ収集を無効化するには「OFF」を選択してから、「OK」を押して確定します。

データ収集の一時停止



車両データの収集は一時的に停止されることがあります。

これを行うには、車両を始動するとき、データ収集を「OFF」に設定します。

データ収集は、「設定」メニュー>「システム」タブ>「デバイスマネージャ」メニュー>「データ」タブの順にアクセスする方法か、受信ステータスアイコン **5** を押して「データ」メニューに直接アクセスする方法で中断できます。

受信ステータスアイコン **5** の詳細については、「システム設定」セクションをご覧ください。

事故発生時の自動緊急通報に関する強制安全機能を除いて、サービスは無効になります。

i 製造元は、お客様の個人データが完全なセキュリティで確実に処理されるよう、必要な予防策を講じます。

データプロテクション

お客様の車からのデータは、メーカー、承認されたディストリビューター、およびメーカーのグループ内の他のエンティティによって処理されます。メーカーの詳細は、ウェブサイトと車両ユーザーマニュアルの最後のページで入手できます。

お客様の個人情報は、次の目的で 사용할 ことができます。

- メーカーが保有するお客様に関するデータを取得し、確認する。
- 不正確な情報を訂正する。
- お使いのデータを削除する。
- データのコピーを取って他の場所で再利用する。
- いつでもデータの使用に反対する。
- データの使用を凍結する。

また、特に販売の見込み客やプロファイリングに使用される場合、お客様は個人データの処理に反対する権利があります。

サービスの起動

個人データの保護

共有を中断するかどうかに関係なく、車両利用状況データは、次の目的でメーカーおよび関係するパートナー / 子会社に転送されます。

- お客様の車の操作とメンテナンスを可能にする。
- お客様の車のライフサイクルを向上させる。

このデータを使用する目的は、商業的な販促行為ではなく、メーカーの車両の継続的な改善と日常業務を妨げる可能性のある問題の防止です。

詳細については、車両ユーザーマニュアルでアドレスが利用可能なメーカーのウェブサイトでデータ保護ポリシーを入手できます。

サービスの有効期限

サービスは限定された期間だけ有効になります。この期間が終了すると、サービスは機能しなくなります。サービスを再度有効化するには、「サービスの購入や更新」と題された項をご覧ください。



製造元は、お客様の個人データが完全なセキュリティで確実に処理されるよう、必要な予防策を講じます。

システムと地図のアップデート

「情報」メニュー

「情報」メニューから「システム」タブを選択します。

このメニューを使用して、さまざまな情報を表示し、マルチメディアシステムおよびナビゲーションマップを更新します。

更新は、システムによって自動的に提案されます。

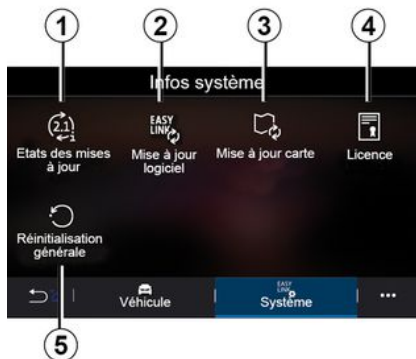


一部の更新プログラムのインストールでは、車両を一時的に使用できなくなる場合があります。その場合は、画面に表示される表示を参照してください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

「システム情報」画面



1. « 更新情報 » ;
2. « ソフトウェアの更新 » ;
3. « マップの更新 » ;
4. « ライセンス » ;
5. « Factory reset ».



« 更新情報 » 1

このメニューには、マルチメディアシステムとナビゲーションマップの更新の進行状況に関する情報が表示されます。

- 更新の名前、
- 更新のステータス。

注:「更新情報」メニュー 1 は、更新が進行中の場合に使用できます。

マルチメディアシステムを更新する

« ソフトウェアの更新 » 2

このメニューから次の操作を実行できます。

システムと地図のアップデート

- 現在のソフトウェアバージョンとマルチメディアシステムのシリアル番号を表示する
- 最後の更新の日付を確認します。
- 更新が利用可能かどうかの確認
- マルチメディアシステムから様々なシステムを更新します。

注：

- 更新が利用可能な場合は、通知を通じて通知されます。「通知の管理」の項を参照してください。
- 更新は、車両がモバイルネットワークでカバーされている地理的な場所にある場合にのみ検索してダウンロードできます。詳しくは ➔ 96 をご覧ください。

新しい更新が利用可能な場合、エンジンの電源が切れた後に通知する通知がマルチメディアシステム画面に表示されます。



インストールを開始する前に、交通から遠く離れて車両を駐車し、パーキングブレーキを適用しま

す。



険です。

閉めきった場所でエンジンを作動させないでください。身体に有害な排気ガスがこもって非常に危



枯れ葉や草、紙屑など燃えやすいものの近くで停車し たままエンジンを作動し続けしないでください。高温となっている排気系統のコンポーネントに、これらのものが接触して火災になる恐れがあります。

枯れ葉や草、紙屑など燃えやすいものの近くで停車し たままエンジンを作動し続けしないで



マルチメディアシステム画面に表示される指示に従って、インストールを続行します。

更新は、「アップデートの確認」6 を押す方法で直接検索することもできます。マルチメディアシステムを検索した後、次の更新プログラム（利用可能な場合）にアクセスできます7。

システムと地図のアップデート



「インストール」**8**を押して更新のインストール**7**を開始します。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。「OK」を押してインストールを確定したら、更新が完了するのを待たずに車両から離れることができます。

ナビゲーション地図の更新

« マップの更新 » 3

ナビゲーションシステムに登録されている国の一覧**9**を確認できます。

お気に入り**10**として登録された国のみが自動的に更新されます。

地図を更新するには、まず、すべての車両サービスが有効になっていることを確認します➔79。

お気に入りの国を変更する

マルチメディアシステムを介してお気に入り国**10**を変更できるのは1回のみです。車両が手元にあり、サービスがアクティブになると、お気に入りの国を定義できます。



マルチメディアシステムの画面に表示されるメッセージは、お気に入りの国を検出するために車両を見つけることを提案します。

お気に入り国**10**を再変更したい場合は、正規ディーラーにご連絡ください。

注: デフォルトでは、お気に入りの国は検出された車両の位置に基づいています。

ナビゲーション地図の手動更新

マップは定期的に更新する必要があります。どの国でも、地図の手動更新にはUSBドライブのしようが必要です（ナビゲーションシステム非装備車両も同様です）。

注：

- USBドライブはFAT32形式でフォーマットされ、最小32 GB、最大64 GBの容量が必要です。
- USBドライブは、システムには含まれていません。

お使いのコンピュータから地図を更新するには、<https://renault-connect.renault.com> にアクセスし、ご自身の「My Renault」アカウントにアクセスします。

地図を更新する前に、車両を特定する必要があります。車両は次のものを使用して識別されます：

- VIN（車両識別番号）
- USBフラッシュドライブを使用した車両の仮想画像。

車両による更新VIN

更新するには、**お使いのコンピューター**からご自身の「My Renault」アカウントに接続し、Map Toolboxソフトウェアをダウンロードして、車両のVINを入力します。

Alliance CONNECT Toolboxソフトウェアには、利用可能な更新のタイプが表示されます。

- 「完全な更新」。

システムと地図のアップデート

– 「国によって利用可能な更新」。

注: 選択した車両で更新が利用可能な国のみが、「国で入手可能な更新」のリストに記載されています。

更新中のユーザーの責任。

更新中は、慎重に指示に従うことが非常に重要です。これらの手順に従わない USB フラッシュドライブの取り外しなどは、破損し、データに不可逆的な損傷を与える可能性があります。

マルチメディアシステムにインストールする更新を選択し、USBフラッシュドライブに更新をダウンロードします。

データが USB フラッシュドライブにダウンロードされると、USB フラッシュドライブをコントロールユニットから取り外し、取り外す前に取り出してから車両に移動することができます。

車両で、USB フラッシュドライブを車両の USB ポートに挿入します。マルチメディアシステムは新しいアプリを検出し、それらのインストールを提案します。マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。

この更新手順は、内燃車両の場合はエンジンが稼働しているときに、ハイブ

リッド車や電気自動車の場合はエンジンがオンの状態で実行する必要があります。

注: 車両の USB ポートに USB フラッシュドライブを挿入した後は、更新プロセスが中止されるのを防ぐために、マルチメディアシステム、その制御機能、または車両の任意のデバイス（電話番号、オーディオ、ナビゲーションなど）を操作しないでください。

更新手順が完了したら、車両から USB フラッシュドライブを取り外すことができます。

 有益な更新された地図や速度制限情報を入手できるよう、ウェブサイト

「<https://renault-connect.renault.com>」を介した更新情報の定期的なインストールをおすすめします。

 地図と制限速度情報は同時に更新されます。ナビゲーション非装備車両では、制限速度情報更新のために更新を実行する必要もあります。

USB ドライブを用い、お使いの車両用の仮想イメージを作成する方法による更新

車両から、FAT32でフォーマットされた最小容量32 GB、最大容量64 GBの USBドライブを車両のUSBポートに挿入し、10秒間待ちます（他のUSBドライブが接続されていないことを確認してください）。

マルチメディアシステムは、ナビゲーションシステムで使用可能な更新を特定するために、車両の仮想イメージを USBドライブ記憶して、Alliance CONNECT Toolboxソフトウェアを有効にします。

仮想イメージを撮影した後、車両の USBフラッシュドライブからUSBフラッシュドライブを取り外し、次にコンピュータにアクセスします。

 新しい USB フラッシュドライブを挿入した場合は、その画像がマルチメディアシステムに保存されます。USB フラッシュドライブの容量に応じて、マルチメディア画面をスタンバイ状態にすることができます。数秒間待ちます。国の要件に適合する USB フラッシュドライブのみを使用してください。

システムと地図のアップデート

お使いのコンピューターからご、Alliance CONNECT Toolboxソフトウェアをダウンロードしたら、車両の仮想イメージが格納されているUSBドライブを挿入します。

Alliance CONNECT Toolboxソフトウェアには、利用可能な更新のタイプが表示されます。

- 「完全な更新」。
- 「国によって利用可能な更新」。

注: 選択した車両で更新が利用可能な国のみが、「国で入手可能な更新」のリストに記載されています。

マルチメディアシステムにインストールする更新を選択し、USBフラッシュドライブに更新をダウンロードします。

データがUSBフラッシュドライブにダウンロードされると、USBフラッシュドライブをコントロールユニットから取り外し、取り外す前に取り出してから車両に移動することができます。

車両で、USBフラッシュドライブを車両のUSBポートに挿入します。マルチメディアシステムは新しいアプリを検出し、それらのインストールを提案します。マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。

この更新手順は、内燃車両の場合はエンジンが稼働しているときに、ハイブリッド車や電気自動車の場合はエン

ンがオンの状態で実行する必要があります。

注: 車両のUSBポートにUSBフラッシュドライブを挿入した後は、更新プロセスが中止されるのを防ぐために、マルチメディアシステム、その制御機能、または車両の任意のデバイス（電話番号、オーディオ、ナビゲーションなど）を操作しないでください。

更新手順が完了したら、車両からUSBフラッシュドライブを取り外すことができます。



枯れ葉や草、紙屑など燃えやすいものの近くで停車したままエンジンを作動し続けしないでください。高温となっている排気系統のコンポーネントに、これらのものが接触して火災になる恐れがあります。



閉めきった場所でエンジンを作動させないでください。身体に有害な排気ガスがこもって非常に危険です。

はじめに

「My Alpine」アプリケーションをダウンロードすると、「My Alpine」顧客アカウントにアクセスできます。

注：

- 「My Alpine」アプリケーションは常時開発中です。アカウントに新機能を追加するには、定期的に接続してください。
- 互換性のある電話の詳細については、指定の代理店に問い合わせください。



「My Alpine」アプリを使用する場合は、電話のインターネット接続を使用しています（携帯電話会社による課金と制限の対象となります）。

「My Alpine」顧客アカウントから、車両とやり取りして情報を取得できます。

- 車両情報を表示します。
- 車両のサービス履歴とスケジュールにアクセスし、予約を行います。
- 車両を駐車している場所を特定します。
- 契約とサービスを表示および管理します。
- 車両を確認します E-Guide。

- 最寄りの正規ディーラを探すこと。

– ...

注：

- 一部機能の使用可否は、車両装備、サービス契約締結状況、各国の法律に応じて変動します。
- 一部の機能は、スマートフォンから「My Alpine」アプリケーションを使用してのみアクセスできます。
- このサービスは、車両のリモートコントロールを起動するために有効にする必要があります。詳しくは「サービスの有効化」セクションをご覧ください。

「My Alpine」アカウントを作成します

「My Alpine」機能にアクセスするには、ウェブサイトまたは「My Alpine」アプリからユーザーアカウントを作成する必要があります。

ウェブサイトから次を実行します：

- ホームページから「アカウントの作成」を選択します。
 - アカウントを作成するために必要な情報を入力します。
- アプリケーションから次を実行します：
- アプリケーションのメインメニューから「登録」を選択します。
 - アカウントを作成するために必要な情報を入力します。

以前に提供された電子メールアドレスに、確認の電子メールが送信されます。

確認メールに表示されているリンクをクリックして、「My Alpine」アカウントの作成を完了します。

注：同じユーザー名とパスワードを使用して、ウェブユーザーアカウントにログインできます。

「My Alpine」アカウントに車両を登録します

「My Alpine」アカウントで「車両を追加」をクリックし、VIN（車両識別番号）または車両の登録番号を手動で追加するか、車両をスキャンして追加します。

ご自身の「My Alpine」アカウントと車両の同期

このアプリケーションを使用するには、お使いのスマートフォンをマルチメディアシステムとペアリングする必要があります。

詳しくは、「電話のペアリング、ペアリング解除」セクションをご覧ください。

注：

- 「My Alpine」アプリと車両を同期するには、通信可能範囲内にある場所に駐車して車両のマルチメディアシス

MY ALPINE

テムを ON にし、車内で操作する必要があります。

– My Alpine アプリが車両と同期されていないと、サービス契約情報にはアクセスできません。

「My Alpine」アプリケーションから次を実行します:

- アカウントにログインします、
- アプリケーションのメインメニューから、「車両を同期」ボタンを押し、もう一度押して確定します。
- マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。

「My Alpine」アカウントがマルチメディアシステムに関連付けられたら、同期が自動的に行われます。

サービスの更新

失効間近のサービスのいずれかを更新するには、「My Alpine」アカウントの「ストア」タブに移動します。

次に「更新」をクリックし、ステップバイステップの手順に従います。

車両の貸し出しや手放し

車両貸出

法的情報

お客様の車両を貸している場合、お客様は、車両を貸している相手にその車両が接続されており、車両の場所などの個人情報が収集されることを知らせる義務があります（接続されたサービスの販売の一般条件を参照）。

データの収集

車両データの収集は一時的に停止されることがあります。

これを行うには、車両が起動し、「セキュリティと機密性」のウィンドウがセンター画面に表示されたら、データ収集の「OFF」を選択します。

事故発生時の自動緊急通報に関する必須の安全機能を除いて、サービスは無効になります。

車両の手放し

個人データの削除

車両を販売する際には、車内または車外に保管されているすべての個人情報を削除することが不可欠です。

これを行うには、車載システムをリセットし、「My Renault」アカウントから車両を削除します。

システムをリセットする

これを行うには、車両のマルチメディアシステムをオンにします。

メインメニューから「車両情報」>「システム」タブ>「一般リセット」の順に押します。

注: 管理者プロファイルからシステムをリセットする場合のみ可能です。

注: 管理者プロファイルからシステムをリセットする場合のみ可能です。システムをリセットすると、インストールされているアプリが削除されます。



アプリを再インストールするには、指定サービス代理店にお問い合わせください。

「My Alpine」アカウントからの車両削除

お使いの車両を売却する際には、必ず「My Alpine」アカウントから古い車両情報を削除してください。

これを行うには、「My Alpine」アカウントに接続し、車両情報を削除します。

リアビューカメラ

「リアビューカメラ」メニュー

メインメニューから「設定」>「車両」タブの順に押し、「駐車アシスト」を選択します。リアビューカメラを設定するには、このメニューを使用します。

リアビューカメラの詳細については、車両の取扱説明書をご覧ください。

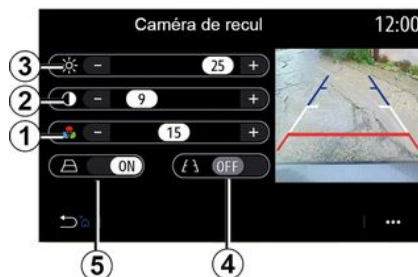
注：

－ カメラの視界が（汚れ、泥、氷雪などで）遮られていないか確認します。

－ 現地の法律によっては、車速が約 10 km/h を超えるとリアビューカメラ表示が使用できなくなります（黒い画面に置き換わります）。速度が高すぎるという警告メッセージが画面に表示されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「メッセージの設定」

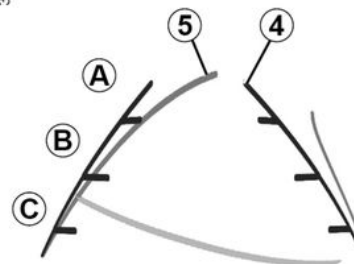
次の設定を調整できます。

- － 輝度 ③
- － コントラスト ②
- － 色 ①

「ガイドライン」

ステアリングホイールの位置に応じて車両の軌道を示す可動ガイド線 ⑤ を有効化または無効化できます。

35987



固定ガイド線 ④

固定ガイド線には、車両の後方における距離に応じて次のように色が変わるマーカー A、B、C が含まれています。

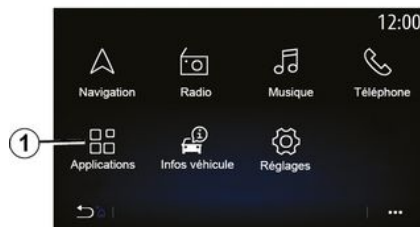
- － A（青色）車両から約 120 cm。
- － B（白色）車両から約 60 cm。
- － C（赤色）車両から約 30 cm。

可動ガイド線 ⑤

（車種によります）

デフォルトでは、マルチメディア画面に黄色で表示されます。ハンドルの切れ角に応じて、車両の軌道を示します。

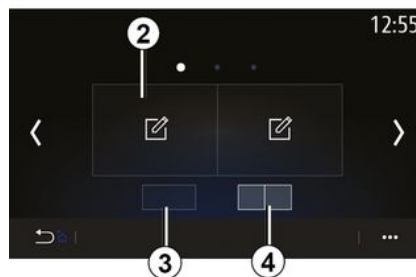
ALPINE TELEMETRICS



Alpine Telemetrics アプリにアクセスするには、ホーム画面から「アプリ」**1** を押し、Alpine Telemetrics を選択します。

注：

- Alpine Telemetrics の使用可否は、車両販売国に応じて変化します。
- Alpine Telemetrics の使用可否は、車両装備の内容に応じて変化します。



Alpine Telemetrics は、ウィジェットを用いて表示をカスタマイズできるアプリケーションです。

2 を押すとウィジェットを選択できます。

次を押して、ウィジェットの表示を調整することができます。

- 1 ページに 1 つのウィジェットを表示するには **3** を押します。
- 1 ページに 2 つのウィジェットを表示するには **4** を押します。



システムの操作に関する注意事項

交通事情が許す限り、スイッチを操作してスクリーンで情報を参照してください。



この機能は補助的機能です。したがって運転されるときは、お客さまの責任において慎重に運転しなければならないことを忘れないでください。
また運転者は常に運転に関する規則に準拠してください。

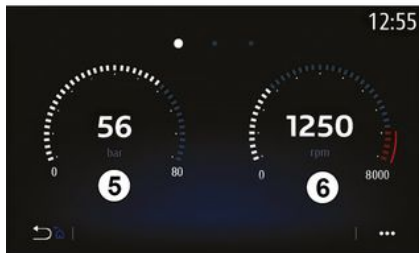
Alpine Telemetrics を使うと、次の機能について表示できます。

- 「圧力計」 1 および 2 (カスタマイズ可能)。
- 「棒グラフ」 (6 つのカスタマイズ可能棒グラフ)。
- 「性能」 0 ~ 100 km/h、0 ~ 400 m など)。
- 「GG 図」 (横／縦加速度の測定結果)。
- 「エンジングラフ」 (エンジンの出力やトルク)。

ALPINE TELEMETRICS

- 「デュアルクラッチギアボックス」
(ギアボックスに関する、温度やギア
簇合といった情報)。
- 「ストップウォッチ」(ラップタイ
ム手動記録結果など)。
- 「自動ストップウォッチ」(ラップ
タイム自動記録結果など)。

「圧力計」5



この機能を使うと、車両設定から、1
つ**5**または2つ**6**のカスタマイズ可
能な圧力計ウィジェットを表示できま
す。

圧力計の設定

圧力計をカスタマイズするには、マル
チメディアシステム画面に表示された
圧力計のうち1つを押して、希望する
設定を選択します。



安全のために、この操作
は必ず停止時に行って
ください。

次の設定を表示することができます：

- 「トルク」。
- 「出力」。
- 「ターボ圧力」。
- 「オイル温度」。
- 「オイル圧力」。
- 「ブレーキ圧力」。
- 「水温」。
- « 速度 »；
- 「ステアリングホイール角度」。
- 「横加速度」。
- 「アクセルペダルの割合」
- 「クラッチ温度」。
- 「エンジン回転数」。

「トルク」(Nm)

利用可能な「加速度」を知ることが
できます (単位: Nm)。

「出力」(ch)

エンジン出力を (DIN 馬力単位で) リ
アルタイム表示します。

「ターボ圧力」(mBar)

リアルタイムにターボチャージャーの
ロードと利用可能な過給量を知ること
ができます (単位: mbar)。

「オイル温度」(°C または °F)

エンジンオイル温度 (摂氏または華
氏) を示します。

「オイル圧力」(bar)

圧力を表示します (単位: bar)。圧力
は常に 0.7 bar を上回っていなければ
なりません。

「ブレーキ圧力」(bar)

ブレーキ回路の圧力を表示します (単
位: bar)。圧力が高くなると、制動
力が増します。

「水温」(°C または °F)

クーラント温度 (摂氏または華氏) を
示します。

注: 作動温度は 115 °C 未満でなければ
ならず、この温度を超えると、インス
トルメントパネルにメッセージが表示
されます。

「速度」(km/h または mph)

車両の速度 (km/h または mph) を示
します。

「ステアリングホイール角度」(°)

ステアリングホイールの角度 (度の単
位で) を示します。

「横加速度」(G)

横加速度と縦加速度 (「G」単位で)
表示します。

「アクセルペダルの割合」(%)

アクセルペダルを踏んだ位置を割合で
示します (0 ~ 100)。

「クラッチ温度」(°C または °F)

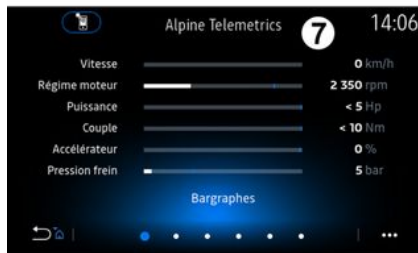
ALPINE TELEMETRICS

クラッチシステムの温度（摂氏または華氏）を示します。

「エンジン回転数」（RPM）

エンジン回転数を表示します（r/min）。

「棒グラフ」



この機能は、6つのバーグラフを表示します。

- « 速度 »;
- 「出力」。
- 「アクセルペダルの割合」
- 「ブレーキ圧力」。
- 「エンジン回転数」。
- 「トルク」。

「トルク」（Nm）

利用可能な「加速力」を知ることができます（単位: Nm）。

「出力」（ch）

エンジン出力が（DIN馬力単位で）リアルタイム表示されます。

「ブレーキ圧力」（bar）

ブレーキ回路の圧力を表示します（単位: bar）。圧力が高くなると、制動力が増します。

「速度」（km/hまたはmph）

車両の速度（km/hまたはmph）を示します。

「ステアリングホイール角度」（°）

ステアリングホイールの角度（度の単位で）を示します。

「横加速度」（G）

横加速度と縦加速度が（「G」単位で）表示されます。

「アクセルペダルの割合」（%）

アクセルペダルを踏んだ位置を割合で示します（0～100）。

「ギアボックスオイル温度」（°Cまたは°F）

ギアオイル温度（摂氏または華氏）を示します。

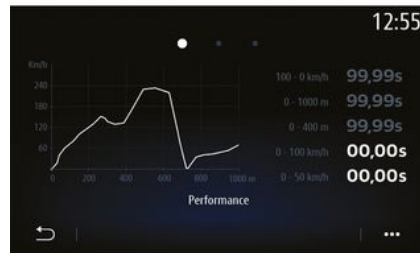
「クラッチ温度」（°Cまたは°F）

クラッチシステムの温度（摂氏または華氏）を示します。

「エンジン回転数」（RPM）

エンジン回転数を表示します（r/min）。

「性能」



性能は自動的に測定され、0 km/h を超える速度が検出されると測定が開始されます。車両が2秒間以上停車すると、自動的にリセットされます。減速の測定は、急ブレーキを行ったときに開始されます。

測定されたパフォーマンスは以下のとおりです。

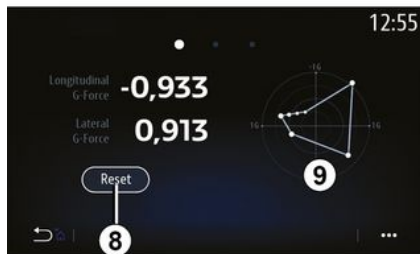
- 0～50 km/h。
- 0～100 km/h。
- 0～400 m。
- 100～0 km/h。
- 0～1000 m。

ALPINE TELEMETRICS

グラフは、走行距離に対する速度を表します。

注: このテストは、短い距離で実行することもできます。したがって、0～400メートルおよび0～1000メートルのパラメータはゼロのままです。

「GG 図」

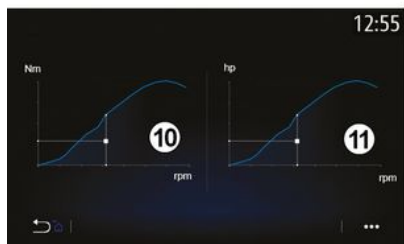


加速時、アイドル時、旋回時に車は横加速度と縦加速度を受けます。この機能では、それらの加速度を表示してリアルタイムに測定することができます。

9 画面では、マルチメディアシステムが保存した測定値の履歴を確認できます。

表示をゼロにリセットするには「Reset」**8**を押します。

「エンジングラフ」



この機能を使うと次の情報を表示できます。

- エンジントルク **10** (Nm 単位)
- リアルタイムエンジン出力 **11** (DIN 馬力)

「デュアルクラッチギアボックス」

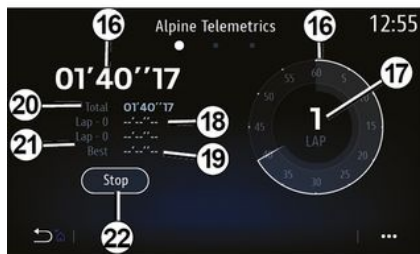


この機能を使うと、デュアルクラッチギアボックス **12** の作動を示す動画を再生したり、次の情報を表示したりできます：

- クラッチ温度 **13**。
- 選択されているギア（画面に示されているギアとインストルメントパネルに示されているギアの間に約2秒間の時差が生じる場合があります）**14**。
- 事前に選択されたギア **15**。

ALPINE TELEMETRICS

「ストップウォッチ」



この機能では、次の情報が表示することができます：

- ストップウォッチ **16**。
- 合計時間 **20**。
- ラップ開始からの経過時間 **18**。
- 直近2回のラップタイム **21**。
- ベストラップタイム **19**。
- ラップ数 **17**。

ストップウォッチを開始するには、ボタン「開始」ボタンかストップウォッチ **22** を押します。以降は、ストップウォッチ **22** を押すたびに、システムがラップタイムを記録します。

このタイムは、直近のラップタイム **18** に表示され、その間もメインストップウォッチによる計測は継続されます。

注: 「開始」ボタン **22** を押すと、「ストップ」ボタンが「開始」機能と置き換わります。

「ストップ」ボタンを1回押すと、ストップウォッチが停止します（タイムは表示されたままになります）。

「Reset」ボタンをもう一度押すと、すべての情報が消去されメインストップウォッチがリセットされます。

注: 「ストップ」ボタン **22** を押すと、「Reset」ボタンが「ストップ」機能と置き換わります。

「自動ストップウォッチ」

ストップウォッチには自動機能があります。開始地点を選択したら、「準備完了」**22** を押すことでラップタイマーを開始できます。

この機能は、ラップの開始位置で車両の位置 GPS を保存します。車両がこの位置 GPS を通過する度に、システムはラップタイムを保存します。

注: 自動モードでは、「ストップ」ボタン **22** が「準備完了」になります。

システム設定

「システム」メニュー

ホーム画面から「設定」>「システム」の順に押します。このメニューでは、次の設定を調整できます：

- «ディスプレイ»；
- «音»；
- «言語»；
- «キーボード»；
- «日付と時間»；
- «デバイスマネージャー»；
- «メニュー»；
- «ユーザープロフィール»。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



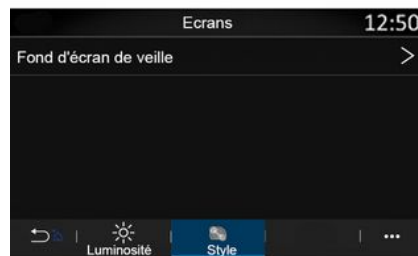
①

«ディスプレイ»

「輝度」タブ **1** では、次の場所での輝度を調整できます。

- (マルチメディア画面、
- ...

「+」または「-」を押して明るさを調整するか、機能を有効 / 無効にします。



②

「スタイル」タブ **2** からイメージを選択することによって、マルチメディアシステムのスタンバイ画面の背景をカスタマイズすることもできます。

画像のアップロードに関する詳細については、「アプリ」の該当セクションを参照後、「写真」をご覧ください。

注:夜間は「中央画面: 昼間輝度設定」機能が無効化され、昼間は「中央画面: 夜間輝度設定」機能が無効化されません。

«サウンド»

このメニューでは、さまざまなサウンドを設定できます。

装備レベルによっては、一部のオプションは使用できません。

システム設定

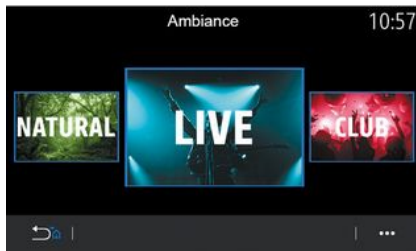
車両には次の3つの装備レベルがあります:

- Standard ;
- Focal ;
- Focal Premium.



「オーディオ」タブ4から、以下の設定を設定することができます。

- サウンドイコライザーを選択します。
- 「バランス」を調整すること。
- 「低音域/中音域/高音域」の音の値を調整すること。
- 「+」または「-」を押す方法で、車速に応じた音量調整を行うこと。
- オーディオソースに応じて音量の整合性を有効または無効にします。

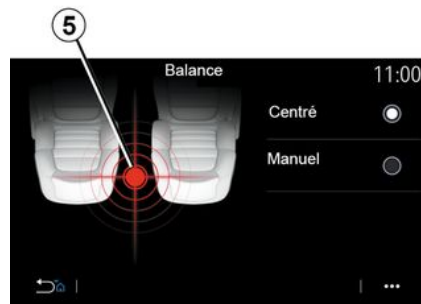


«ムード»

FocalまたはFocal Premium装備レベルで利用できます。

以下の事前に定義された音楽イコライザーの1つを設定できます:

- Natural ;
- Live ;
- Lounge ;
- Club.



«バランス»

この機能は、サウンドの配分バランスを設定します。「中心」または「マニュアル」を押して、すべての車両乗員のサウンド配分を最適化します。

画面へのタッチ中か、「マニュアル」の選択中には、対象5を移動させることで設定を変更できます。

システム設定



7 « 低音域/中音域/高音域 »

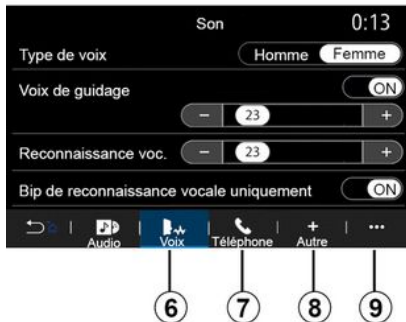
この機能を使用して、次の値間のサウンド配分を調整します。

- « 低音域 » ;
- « 中音域 » ;
- « 高音域 » .

« 音量/スピード »

FocalバージョンとFocal Premiumバージョンで使用可能。

この設定により、オーディオシステムは車速に応じて音量を変更できます。



車両が販売されている国に応じて、「音声」タブ6から、次のオプションを設定できます。

- ナビゲーションガイダンスの音声タイプを選択する。
- ナビゲーションガイダンス音声を有効/無効にします。
- ナビゲーションガイダンス音量を調整する。
- 音声認識音量を調整する。
- 音声認識ボタンのサウンドを有効または無効にします。
- 音声コマンド (Voice command auto-barge in) を有効または無効にする。
- ...

「電話」タブ7では、設定調整に関する次のことを行えます。

- 電話着信音の音量を調整する。

- 電話呼び出し音の音量を調整する。「その他」タブ8では、設定調整に関する次のことを行えます。

- 室内ウェルカムサウンドエフェクトを有効/無効にします。
- サウンド効果を有効または無効にする。

デフォルト設定へのリセットは、ポップアップメニュー9から行えます。

« 言語 »

このメニューで、車両に適用する言語を選択します。使用する言語を選択します。

各言語の音声コマンドの可用性について通知されます。



« キーボード »

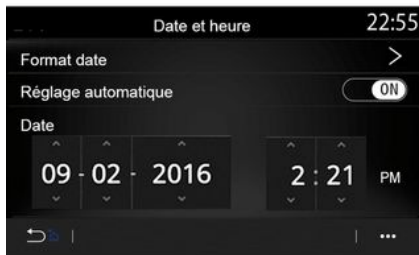
システム設定

このメニューを使用して、次の仮想キーボードのいずれかを選択します。

- « アルファベット »;
- « AZERTY配列 »;
- « QWERTY配列 »;
- « Cyrillic »;
- « Greek »;
- ...

テキストを入力し始めると、マルチメディアシステムが関連する言葉を提案する場合があります。

キーボードのポップアップメニューからキーボードのタイプを選択することができます。



« 日付と時間 »

このメニューを使うと、次の要素を調整できます。

- ディスプレイモード
 - 日付
 - 時間 (12 時間または 24 時間)
 - 時計の種類 (「アナログ」または「デジタル」)。
- オートモードの調整
- 時間と日付の調整。

注: オートモードの設定のままにすることを推奨します。



« デバイスマネージャー »

このメニューを使用して、マルチメディアシステムへのさまざまな接続を設定します。

- « Bluetooth® » **10**;
- « デバイス » **11**;
- « WIFI » **12**;
- « データシェア » **13**.

「Bluetooth®」タブ **10** では、お手持ちの電話からマルチメディアシステムへのペアリング／接続を行えます。詳しくは ➔ **59** をご覧ください。

注: 設定の一覧は機器によって異なる場合があります。



「WIFI」タブ **11** から、ショップ、レストラン、住居、または電話などで外部デバイス (hotspot) によって提供されるインターネット接続を使用できます。

ポップアップメニュー **14** では次のことを行えます。

- hotspotsの削除
- 非表示のhotspotを使用
- 接続手順にアクセスします。

システム設定



接続を設定するには、WIFI デバイスのいずれかを選択します。

パスワードはマルチメディアシステムに初めて接続するときに必要になります。

ポップアップメニュー **15** では、アクセスポイントを削除できます。



「ホットスポット」機能を使う場合、その作動に必要なモバイルデータの転送により、契約の電話料金プランに含まれない追加の費用が生じることがあります。



ポップアップメニュー **16** では次のことを行えます。

- 許可されたデバイスごとに異なる接続を設定します。
- 「スマートフォンをミラーリングする」ヘルプにアクセスすること。
- 承認済みデバイスを削除すること。
- 承認されたすべてのデバイスを削除します。



「サービス」タブ **18** では、「デバイスマネージャー」**17** を構成したり、「スマートフォン連携のチュートリアル」にアクセスしたりできます。

スマートフォン統合チュートリアル

このメニューでは、「スマートフォンをミラーリングする」を有効にする方法を説明します。開始する前に、次の注意を確認してください：

- スマートフォンに「Android Auto™」または「CarPlay™」アプリケーションが装備されています。
- このアプリケーションは更新され、マルチメディアシステムと互換性があります。
- お使いのスマートフォンがマルチメディアシステムに接続されます。

システム設定

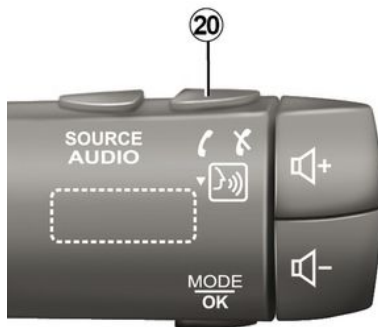


詳細については、「電話の接続、接続解除」の項を参照してください。

「デバイスマネージャー」機能 **17** を使用すると、「スマートフォンをミラーリングする」に自動接続するスマートフォンを選択できます。

ポップアップメニュー **19** では、デバイスを削除できます。

注: 設定の一覧は機器によって異なる場合があります。



車両が販売されている国によっては、「Android Auto™」アプリケーションまたは「CarPlay™」サービスがマルチメディアシステムで動作すると、車両の音声認識ボタン **20** を使用して、音声で特定のスマートフォン機能を制御できます。

詳細は、「音声認識の使用」の項を参照してください。



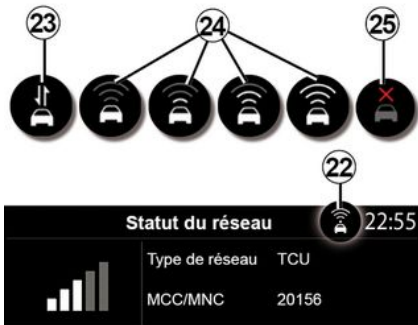
「データ」タブ **21** では、次の要素に関する情報にアクセスできます。

- どのオペレータが車両への接続を担当しているか。
- 接続性データとステータス
- データを共有する。

システム設定



ステータスおよび接続に関するデータは、ステータス、受信強度 22 およびシステム ID を示します。



受信強度およびデータ共有のステータスは、アイコン 22 により次のように示されます。

- データ共有が ON 23
- データ共有オフ。受信強度 24。
- 車両が、オフラインであるか通信可能エリア外にある 25。



« メニュー »

このメニューを使用して、マルチメディアシステムのホームページを設定します。

ホームページは、選択したウィジェットを追加して、ホームページの希望する位置に配置して変更することができます。ホームページを設定する方法についての詳細は、➔ 18 ➔ 18を参照してください。

ポップアップメニュー 26 では次のことを行えます。

- ウィジェットの削除
- ホームページをデフォルト設定に復元する



« ユーザープロフィール »

このメニューで、システムに適用するユーザープロフィールを選択します。

使用するユーザープロフィールを選択します。

ユーザープロフィールにリンクさせた内容

ユーザープロフィールには、次の項目に関する設定が保存されています。

- システム言語
- 距離の単位を設定すること（可能な場合）。
- ホームページを構成すること。

システム設定

- 表示設定
- プリセットを閲覧すること。
- ラジオ設定を調整すること。
- ナビゲーション設定
- ナビゲーションの履歴
- ナビゲーションのお気に入り
- プライバシー設定を調整する（プロフィールをロックするなど）こと。

- ...

「GUEST」プロフィール

GUEST プロファイルを使用すると、メインメニューの機能にアクセスすることができます。

このプロフィールから「変更」タブ **27** にアクセスすることはできません。システムが再起動されると、GUEST プロファイルがリセットされ、設定は保存されません。

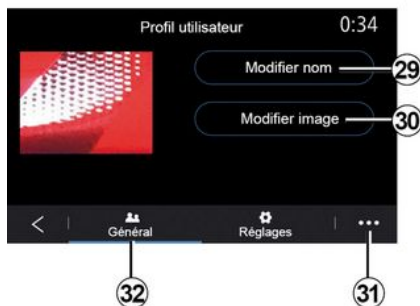
ポップアップメニュー **28** から、さまざまなプロファイルを管理できます。



個人データを保護するために、プロファイルをロックすることをお勧めします。

お客様の個人データの使用に関する詳細については、➔ **79** をご覧ください。

ます。写真閲覧の詳細については、「写真」セクションをご覧ください。



ユーザープロフィールの名前を変更する

「全般」タブ **32** では、「名前の編集」ボタン **29** を押すことでプロフィール名を変更できます。

ポップアップメニュー **31** では次のことを行えます。

- プロファイルのロック / ロック解除
- プロファイルの複製
- プロファイルに保存されているすべての設定を削除します。
- プロファイルの更新
- ...

ユーザープロフィールの写真を変更する

「全般」タブ **32** では、「名前の編集」ボタン **30** を押すことで、マルチメディアシステムまたは外部記憶装置（USB ドライブ）から画像を選択でき

通知

おすすめ情報や通知

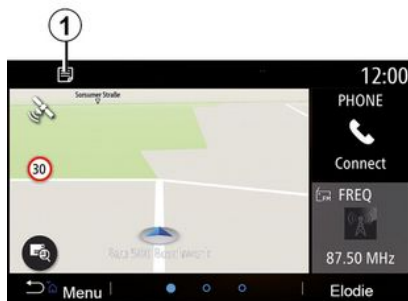
このメニューを使用して、走行中の指示と通知を表示します。

各通知は、次のカテゴリに基づいてイベントを通知します。

- « おすすめとお知らせ »;
- « ナビゲーション »;
- 「マルチメディア」
- « 電話 »;
- « 車両 »;
- 「アプリ」
- « システム »;
- « その他 ».

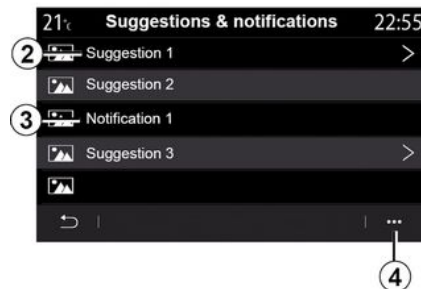


安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



受信通知一覧にアクセスするには「おすすめとお知らせ」メニュー **1** を押します。

通知領域に通知の現在の数が通知されます。



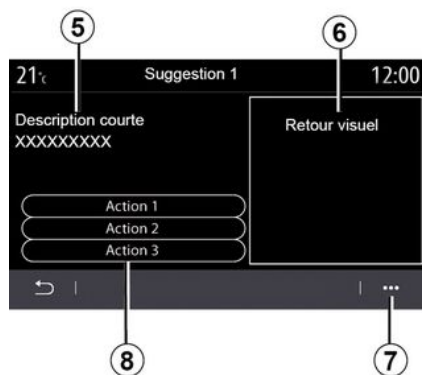
次の2つのタイプの情報を受け取ることがあります。

- おすすめ情報 **2**: 必要になり得る対応に関する情報。
- 通知 **3**: 基本情報。

ポップアップメニュー **4** では次のことを行えます。

- 通知をカテゴリー別に有効化／無効化すること。
- 通知を削除すること。

通知



次の情報にアクセスするには、おすすめ情報 **2** のいずれかを選択します。

- 簡単な説明 **5**。
- おすすめ情報（交通、システム、車両、電話に関する情報など）と関係のある画像 **6**。
- 講じるのがおすすめな対応 **8**。

ポップアップメニュー **7** では、おすすめ情報を削除できます。

システム

システム		
不具合	原因	解決法
画像が全く表示されない。	画面がアイドル状態です。	画面がアイドル状態でないか確認。
音が出ない。	音量が最小か一時停止になっています。	音量を上げるか一時停止を解除します。
左、右、前方、後方のスピーカーから音が出ない。	balanceまたはfaderの設定が正しくありません。	サウンドbalanceまたはfaderを正しく調整してください。
画面がフリーズしている。	システムメモリが飽和状態です。	マルチメディアシステムの ON/OFF ボタンを長押しして（システムが再起動するまで押し続ける）、システムを再起動します。
アプリの喪失。	システムをリセットすると、アプリが削除されます。	交換する場合は指定サービス工場にお問い合わせください。

ナビゲーション

ナビゲーション		
不具合	原因	解決法
画面上の車両の位置が実際の位置と一致しない、または画面上の GPS 警告灯がグレーまたは黄色のままになっている。	GPS受信が原因で、間違った位置が測定されています。	GPS信号を良好に受信できる場所まで車を移動させてください。
交通の流れが画面に表示されない。	ガイドがオフになっています。 「トラフィックマップ」接続サービスが有効化されていません。	ガイドランスが有効になっているか、または接続されているサービスがアクティブかどうかを点検します。目的地を確認してガイドを開始します。
メニュー項目の一部が使用できない。	使用中のコマンドに係る一部の項目が使用できません。	
音声ガイドが使用できない。	ナビゲーションシステムが交差点を認識しない。 音声ガイドまたはガイドがオフになっています。	音量を上げて下さい。音声ガイドがオンになっているか確認して下さい。ガイドがオンになっているか確認してください。
提案ルートが開始されない、もしくは希望目的地で終了しない。	システムが目的地を認識していない。	希望する目的地の近くの道路を入力します。
システムが迂回路を自動的に計算します。	優先回避エリア設定または交通規制は、ルート計算に影響を与えません。	交通設定メニューで、「迂回」機能を解除します。

電話

電話		
不具合	原因	解決法
音と呼び出し音が聞こえません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 音量が最小か一時停止になっています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。音量を上げるか一時停止を解除します。
電話をかけられません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 電話のキーパッドがロックされています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。電話のキーパッドのロックを解除してください。
CarPlay™ または Android Auto™ レプリケーションが作動していません。	電話が接続されていないか、システムと互換性がありません。	これらのアプリケーションとの互換性を確認してください。電話がシステムに正しく接続されていることを確認してください。

音声認識

音声認識		
不具合	原因	解決法
システムが音声コマンドを認識しない。	音声コマンドが認識されていない。 音声認識の遅延時間が過ぎています。 音声認識は、騒音の多い環境では正しく機能しません。	音声コマンドが存在する旨が示されていることを確認してください ➡ 21。音声認識の遅延時間内で発声してください。 静かな環境で発声してください。

索引

記号・数字

2D/2Dモード: 2Dノースモード、 [28](#)

3D/2D モード: 起伏、 [28](#)

A

Ambiance musicale : lounge、 [96](#)

Android Auto™、Carplay™、 [74](#)

B

BALANCES、 [96](#)

BALANCES フロント、 [96](#)

BALANCES 手動、 [96](#)

BALANCES 中央、 [96](#)

Bluetooth®、 [53](#)

M

MP3、 [53](#)

MP3 プレーヤー、 [53](#)

P

POI、 [34](#)、 [46](#)

POI : Point Of Interest、 [34](#)

PRESET モード、 [49](#)

S

SMS、 [68](#)

W

widgetsの追加と管理、 [92](#)、 [96](#)

オ

オーディオ設定: ラジオ設定、 [49](#)

オーディオ設定: 音響設定、 [96](#)

お気に入り: 追加、 [34](#)

お知らせ: おすすめやお知らせ、 [104](#)

ガ

ガイド: 音声、 [28](#)

ガイド: 地図、 [28](#)

ガイドライン、 [90](#)

ガイドライン: リアビューカメラ、 [90](#)

ク

クリーニング => 洗浄、 [11](#)

コ

コンパス、 [28](#)

サ

サウンド音量の調整、 [70](#)

シ

システム: 更新、 [82](#)

索引

ス

ステアリングホイール下のスイッチ、 [5](#)

ソ

ソフトボタン、 [4](#)、 [11](#)

ド

ドライブUSB、 [53](#)

ナ

ナビゲーション: 「ルート」メニュー、 [34](#)

ナビゲーションシステム、 [28](#)

ビ

ビデオ、 [57](#)

ボ

ボタン、 [5](#)、 [11](#)

ボタン: ON / OFF、 [5](#)

ポップアップメニュー、 [49](#)

マ

マルチメディア（機器）、 [4](#)

マルチメディア画面、 [4](#)

メ

メインメニュー、 [11](#)

メニュー、 [11](#)

メニュー: ホームページ、 [18](#)

メニュースクリーン、 [11](#)

メニューホームページ、 [11](#)

メニュー画面アプリ、 [11](#)

ラ

ラジオ: 自動モード、 [49](#)

ラジオ: 自動ラジオ局記憶、 [49](#)

ラジオ: 手動モード、 [49](#)

ラジオ: 放送局プレチューニング、 [49](#)

ラジオ: 放送局を選択、 [49](#)

ランドマーク、 [34](#)

リ

リアビューカメラ、 [90](#)

ワ

ワイヤレスチャージャー、 [72](#)

英

英字キーパッド、 [96](#)

英字キーパッド: マルチメディアシステムに組み込まれたキーパッド、 [96](#)

音

音楽環境、 [96](#)

音楽環境: club、 [96](#)

索引

音楽環境: live、[96](#)

音響バランス: 音響設定、[96](#)

音声: 無効化、[96](#)

音声: 有効化、[96](#)

音声ガイド: 音声ガイドを有効化、[28](#)

音声制御、[21](#)

音声認識、[21](#)、[96](#)

音声認識: 電話アプリケーション、[96](#)

音声有効化: 音声認識機能、[96](#)

音量: システム、[96](#)

音量: ビープ音、[96](#)

音量: 速度連動、[96](#)

画

画面: スクリーンセーバー、[17](#)

画面: メニュー、[4](#)

画面の清掃、[14](#)

携

携帯電話帳、[65](#)

警

警告: 駐車可能時間終了、[90](#)

個

個人データ: 保存、[59](#)、[79](#)

個人データ保存: 消費者情報、[96](#)

交

交通情報、[44](#)

交通情報TMC、[44](#)

左

左／右の音響バランス設定: 低音域／中音域／高音域、[96](#)

作

作動、[17](#)

作動異常、[106](#)

時

時間: 設定、[96](#)

自

自動通話中着信、[63](#)

写

写真: 電話帳、[55](#)

手

手順: 旅程、[34](#)

詳

詳細ルート、[34](#)

詳細ルート: 道路地図、[34](#)

索引

数

数字キーパッド、 [96](#)

制

制御、 [5](#)、 [11](#)

接

接続サービス、 [79](#)

設

設定、 [70](#)、 [96](#)

設定: カスタマイズ、 [96](#)

設定: ナビゲーション、 [46](#)

設定: 輝度、 [96](#)

設定カスタマイズ、 [18](#)

速

速度超過警告、 [46](#)

代

代替ルート: ナビゲーション設定、 [46](#)

代替ルート: ルート設定、 [46](#)

地

地図: 縮尺、 [28](#)

地図: 設定、 [28](#)、 [82](#)

地図: 地図記号、 [28](#)

地図: 表示、 [28](#)

地図メニュー: メインナビゲーションメニュー、 [34](#)

駐

駐車: パーキングアシスト、 [90](#)

通

通話を拒否する、 [63](#)

通話を終了する、 [63](#)

停

停止、 [17](#)

電

電話に応答、 [63](#)

電話のペアリング、 [96](#)

電話のペアリング解除、 [59](#)、 [96](#)

電話の取り外し、 [61](#)

電話の接続、 [61](#)

電話をペアリング、 [59](#)

電話を受ける、 [63](#)

電話設定: 電話着信音、 [96](#)

電話番号を押す、 [63](#)

発

発信ログ、 [66](#)

索引

無

無線充電器:- 誘導充電、 [72](#)

目

目的地のメニュー、 [34](#)



SOCIÉTÉ DES AUTOMOBILES ALPINE, SA par actions simplifiée à associé unique
AVENUE DE BREUTE, 76200 DIEPPE - SIRET 662 750 074 / SITE INTERNET : alpinecars.com

NX 1469-7 – 77 11 418 995 - 07/2025 - Edition japonaise



7711418995